

NPO

KHJ

2009 3

NPO

KHJ

10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

10
11
12
13
14
15

16
17
18
19
20

SIAS

2009

426

83

KHJ

21

20

20

2009

NPO

KHJ

20 11

21 1

429

50

10

426

表1-1 本調査の対象となった引きこもり本人が住んでいる場所

地方	都道府県	人数	地方	都道府県	人数
北海道・東北地方	北海道	7	近畿地方	大阪府	17
	山形県	7		兵庫県	12
	青森県	2		京都府	5
	岩手県	4		三重県	2
新潟県	19	滋賀県		1	
甲信越地方	石川県	13	奈良県	1	
	富山県	9	中国地方	広島県	21
	千葉県	41	山口県	12	
関東地方	東京都	33	岡山県	9	
	埼玉県	24	香川県	20	
	神奈川県	20	四国地方	愛媛県	15
	栃木県	19	高知県	12	
	茨城県	3	徳島県	7	
	群馬県	2	宮崎県	4	
	静岡県	33	九州地方	大分県	4
東海地方	愛知県	31	鹿児島県	3	
	岐阜県	2	福岡県	3	
			熊本県	1	
			不明	8	
			合計	426	

4.7	9.6	33.3	15.5
8.9	9.9	12.7	3.5

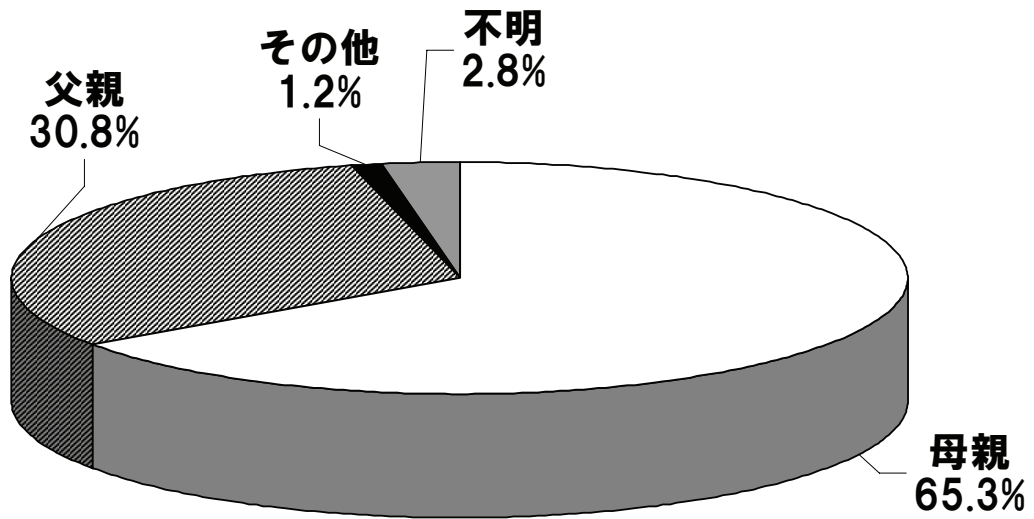


図1-1 引きこもり本人との家族回答者の続柄

65.3 30.8
 1.2 2.8
 2002

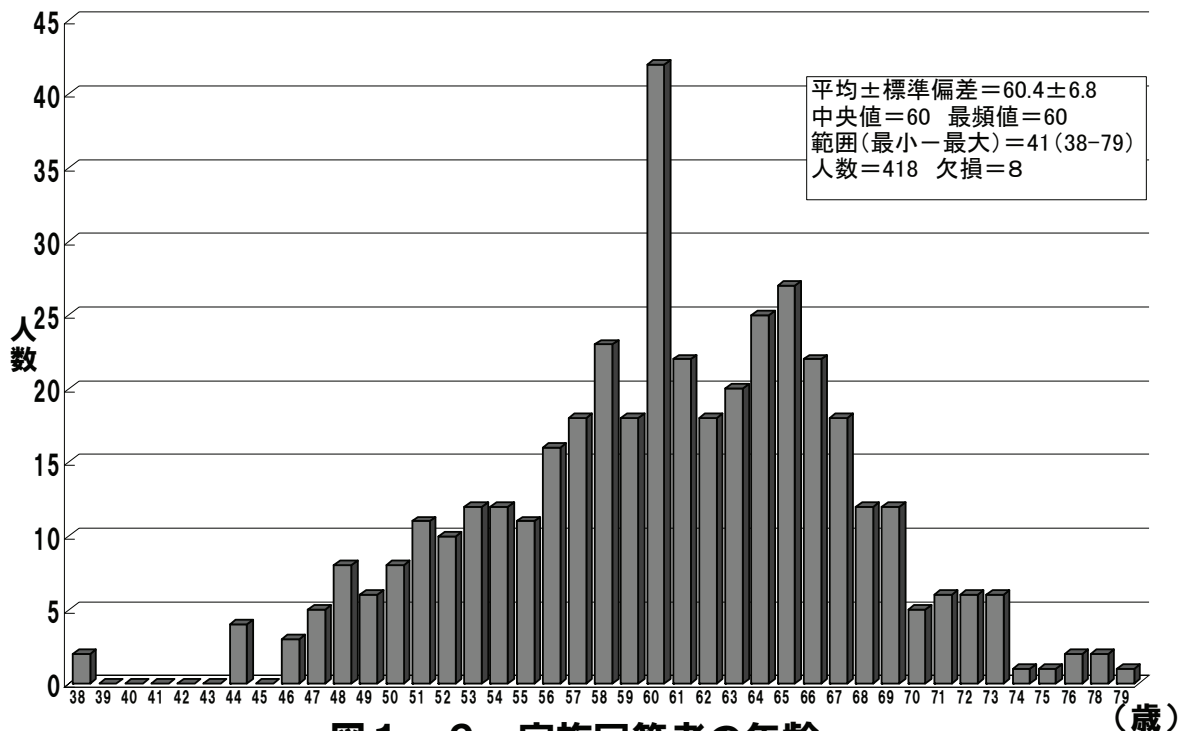


図1-2 家族回答者の年齢

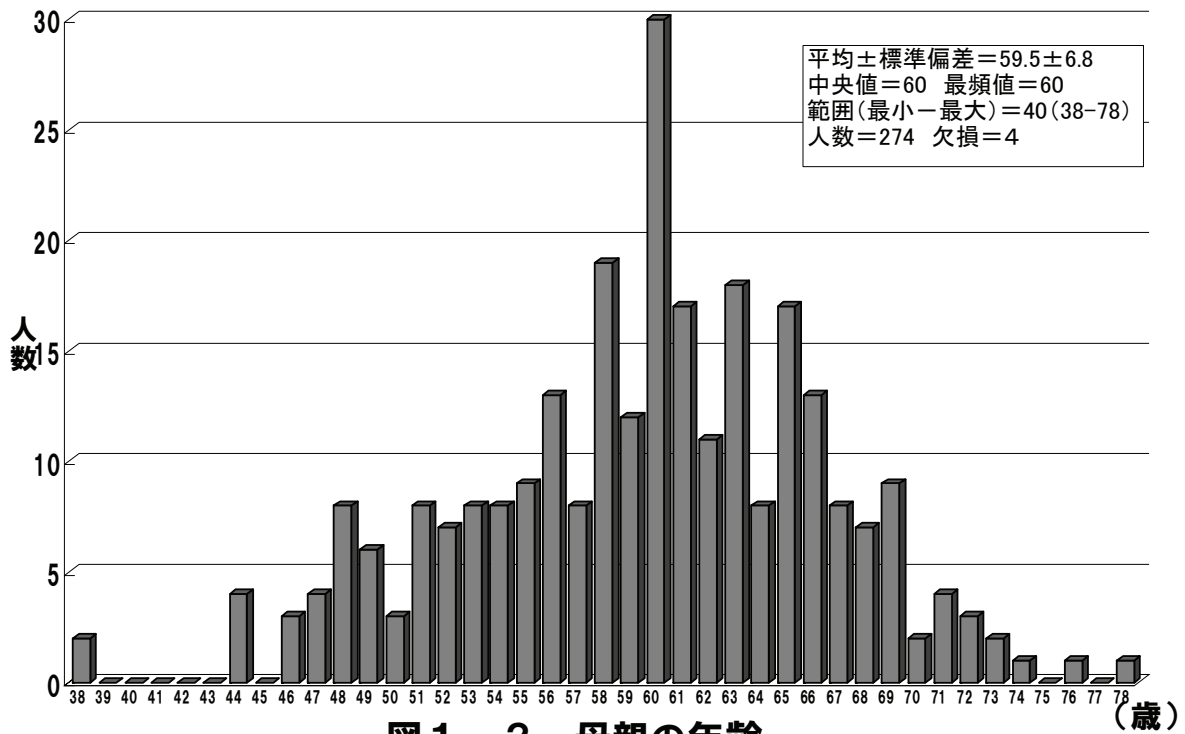


図 1 - 3 母の年齢

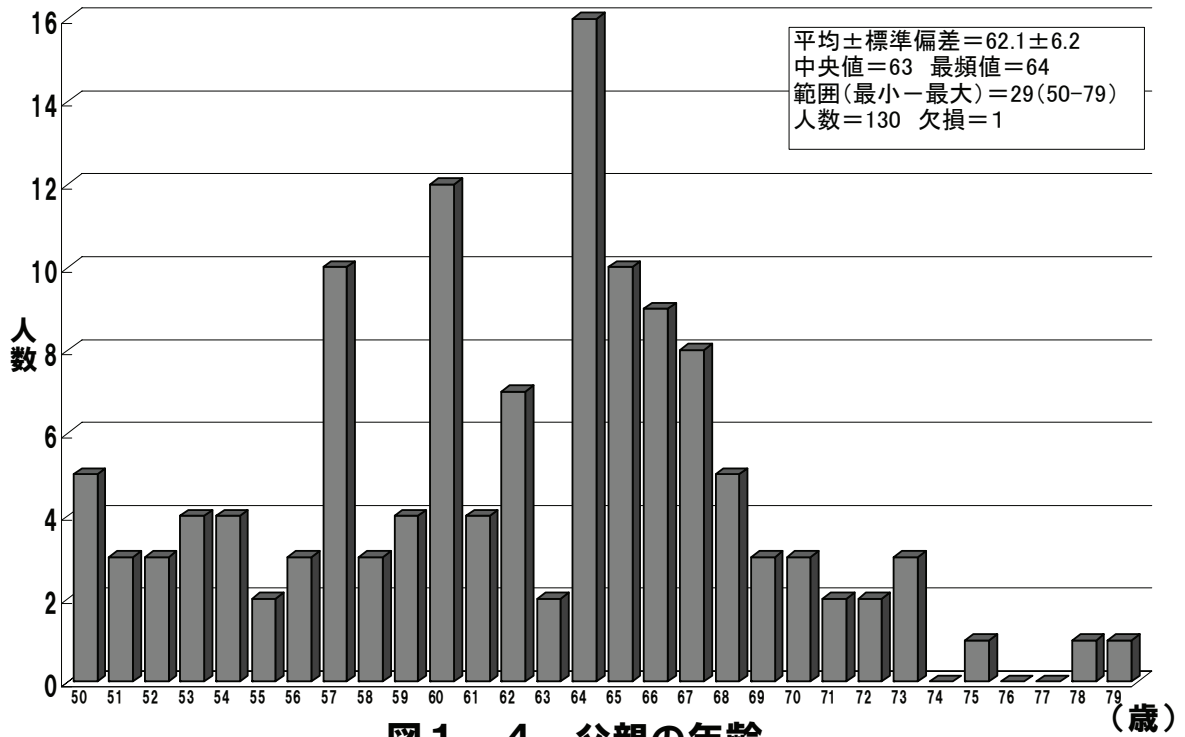


図 1 - 4 父親の年齢

60.4

38

79

59.5

38

78

62.1

50

79

50

50

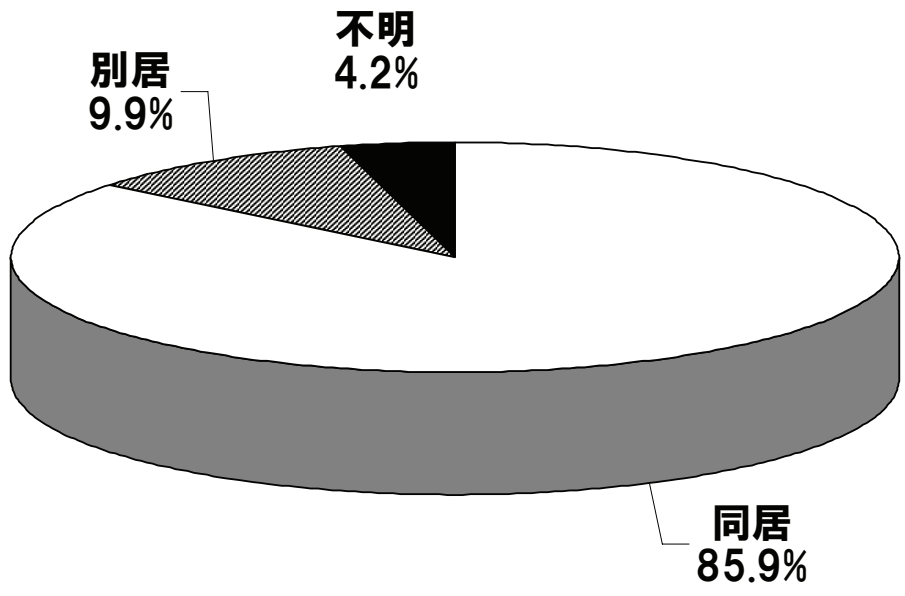


図1-5 引きこもり本人と家族回答者の同・別居

85.9

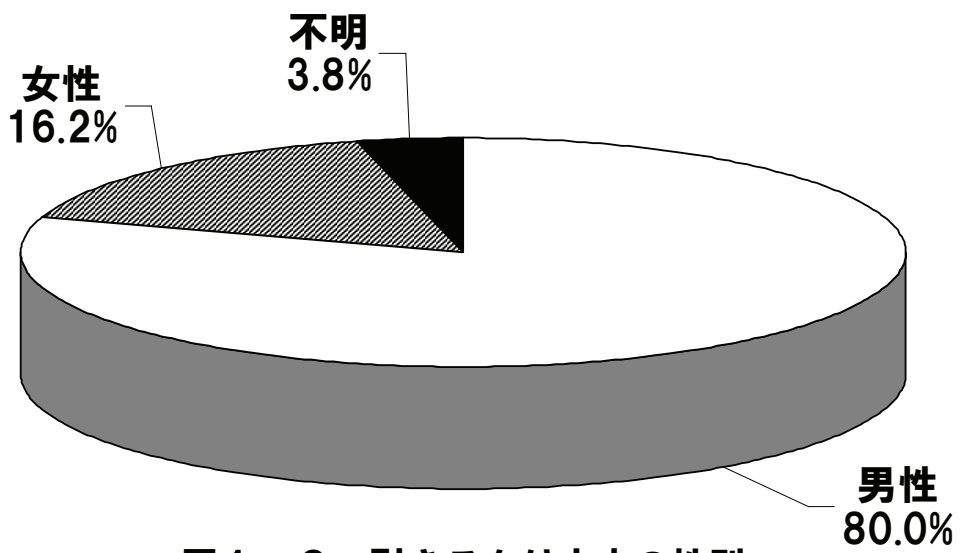


図1-6 引きこもり本人の性別

80.0

16.2

3.8

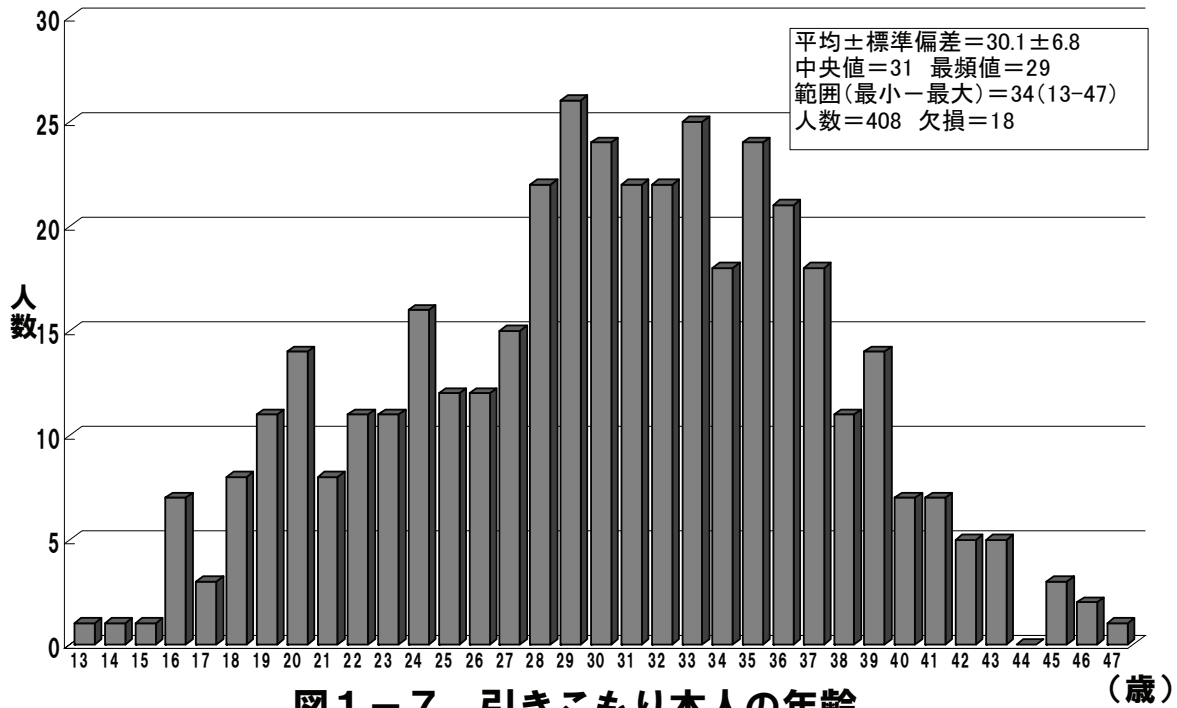


図1-7 引きこもり本人の年齢 (歳)

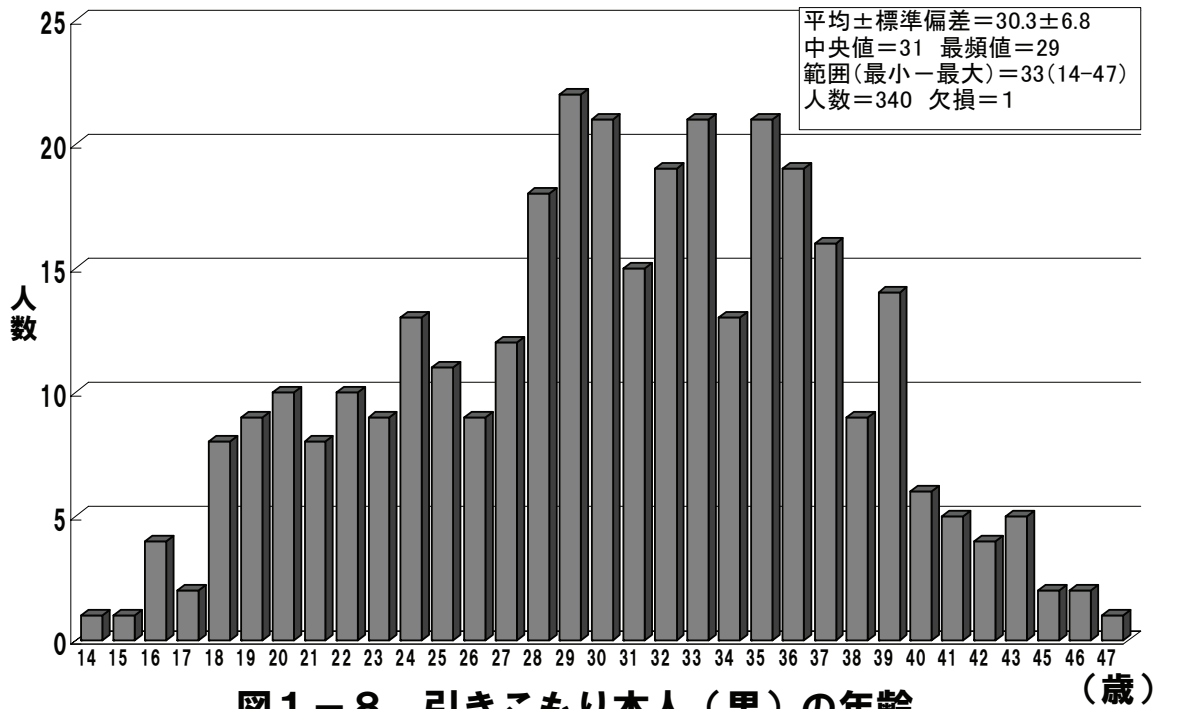
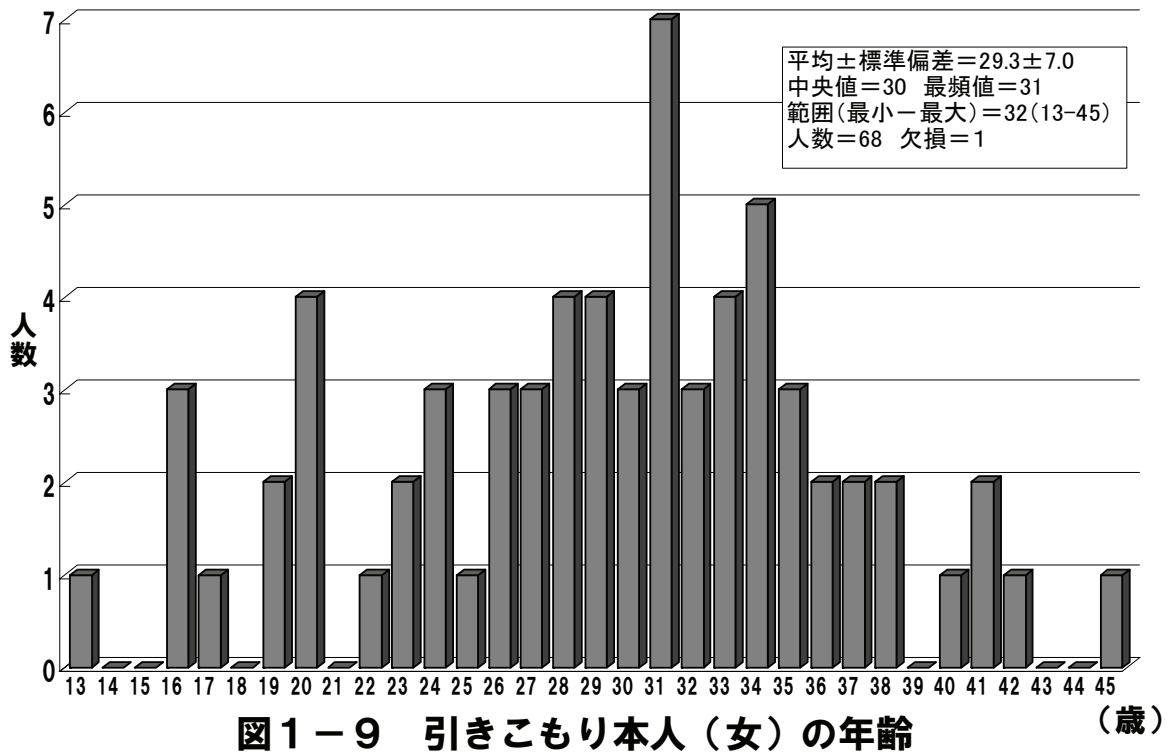


図1-8 引きこもり本人(男)の年齢 (歳)

30.2
 13
 47
 30.3
 14
 47
 29.3
 13
 45



30

88

40

21.2

10

44

11

12

29

89.3

20

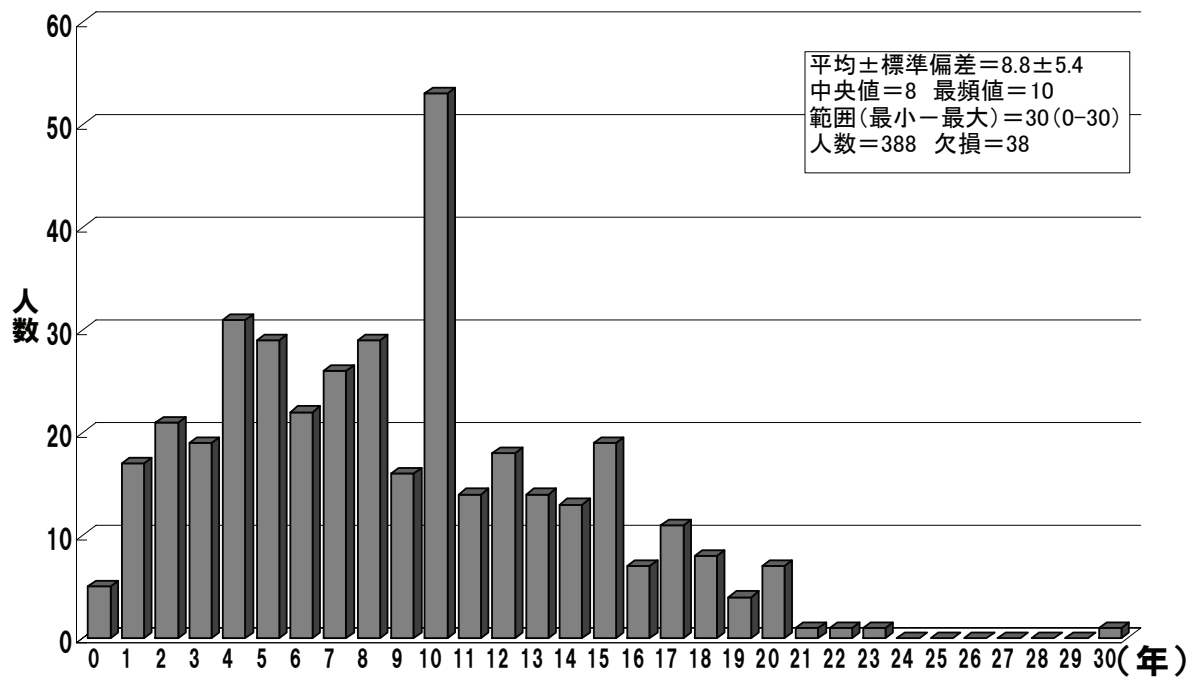


図1-10 引きこもり期間

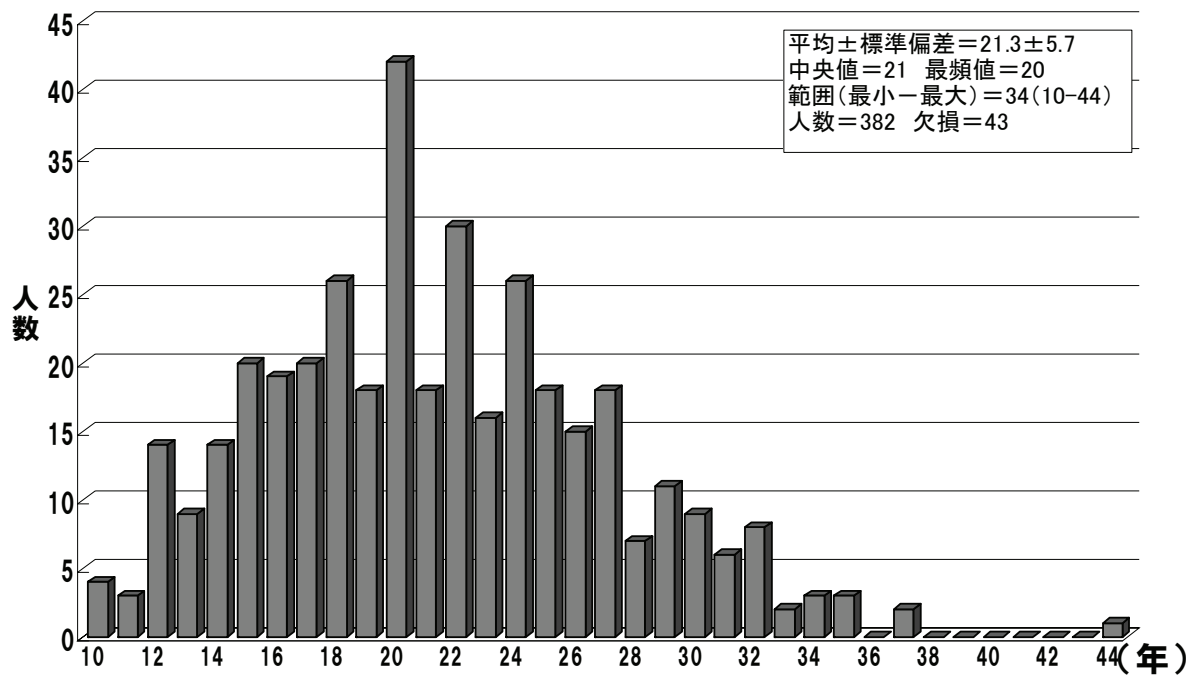


図1-11 引きこもりの開始年齢

51.4

5.6

17.6

5.4

3.8

27.7

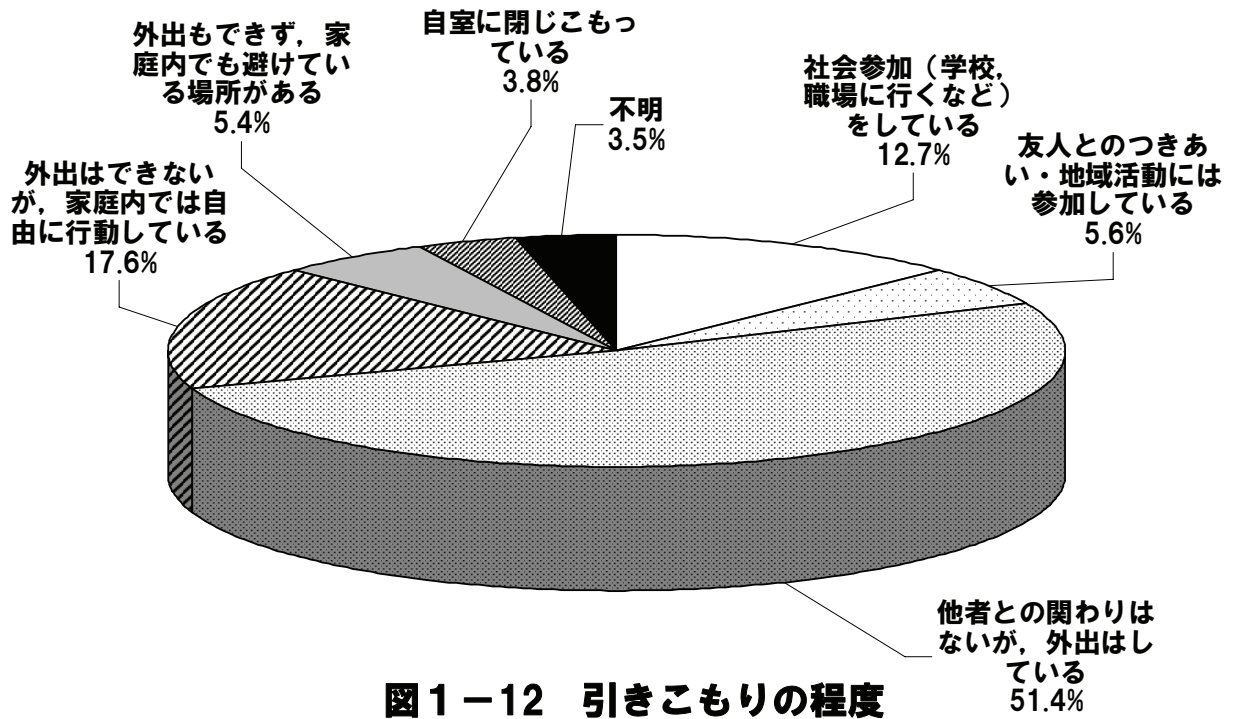


図1-12 引きこもりの程度

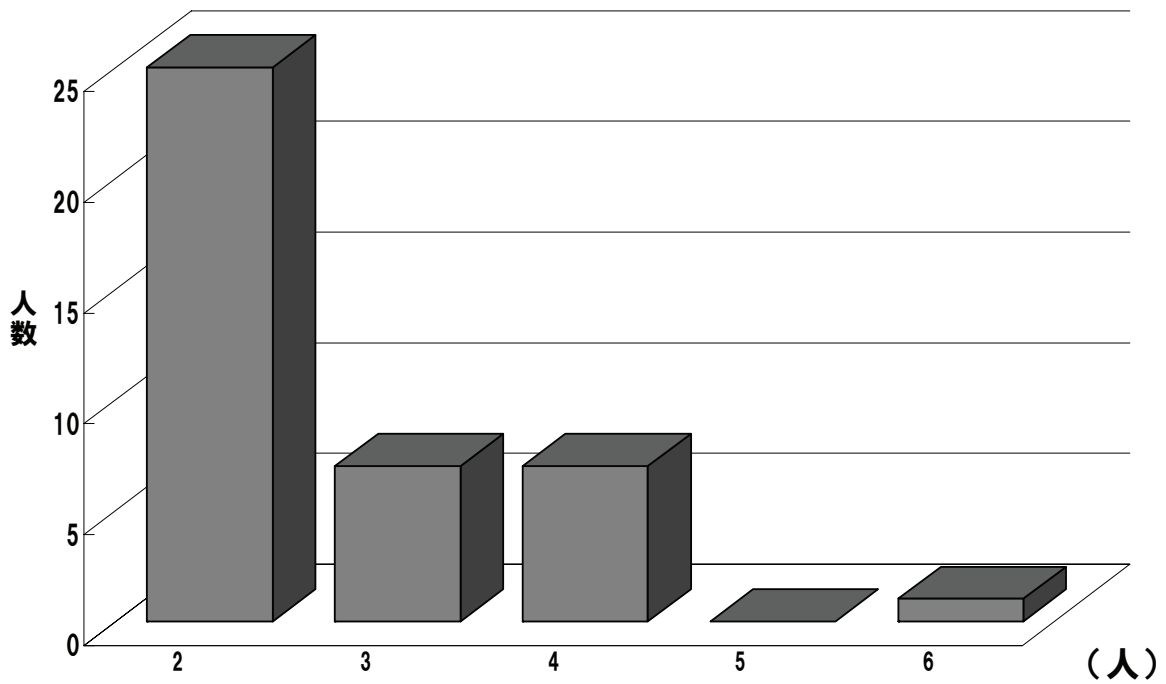


図1-13 複数人いる家庭

25

40

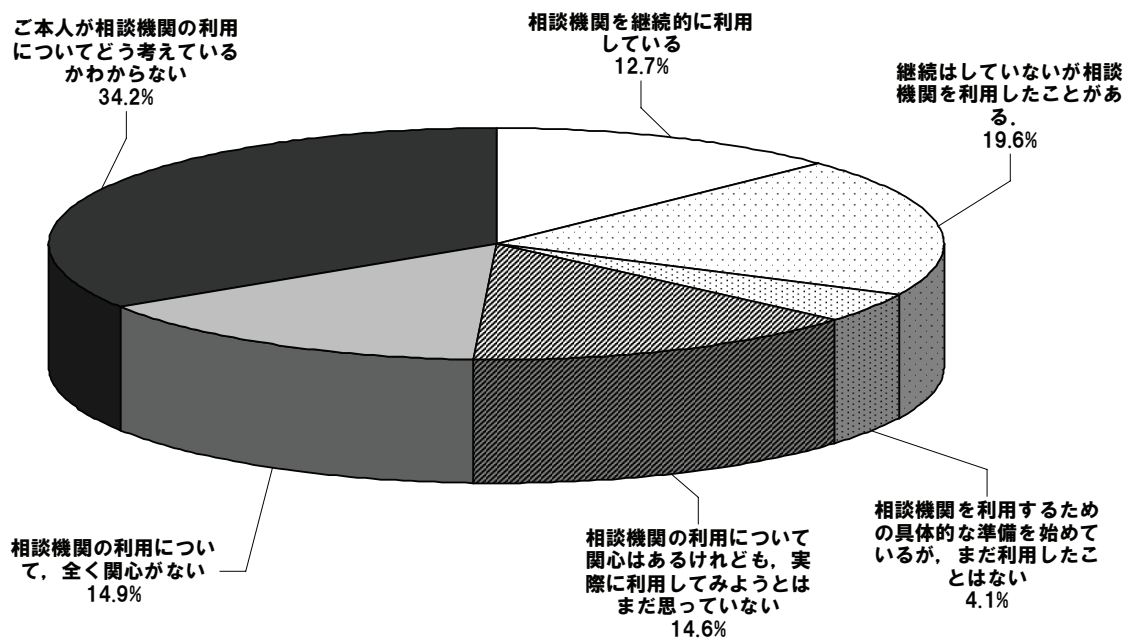


図1-14 引きこもり本人の相談機関の利用状況

14

12.7

19.6

32.3

14.9

34.2

15

33.7

37.0

70.7

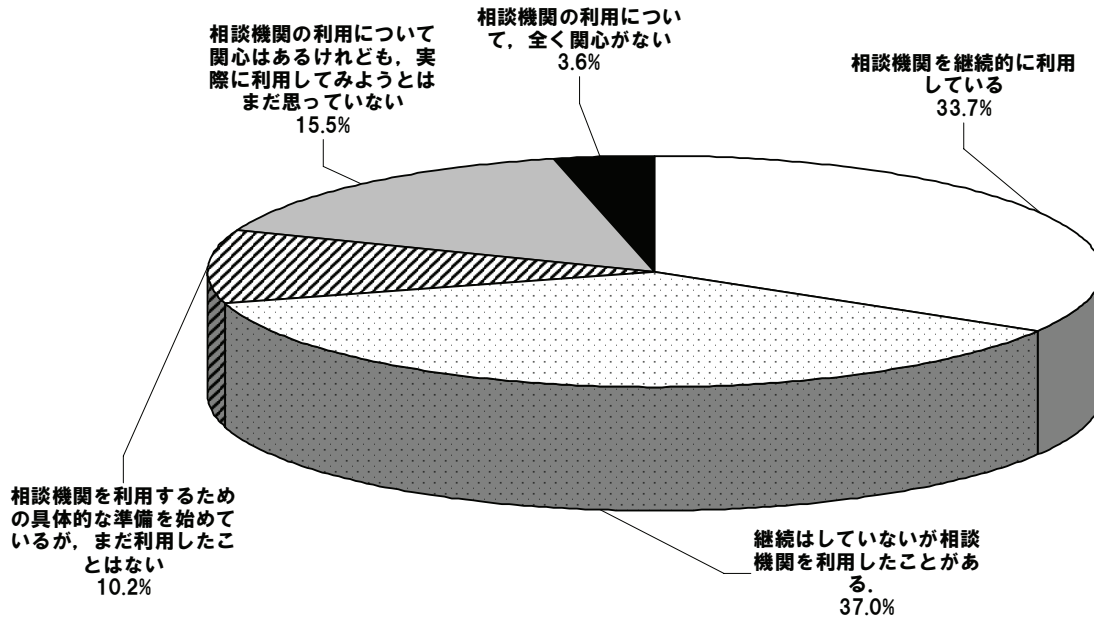


図 1 - 15 家族回答者の相談機関の利用状況

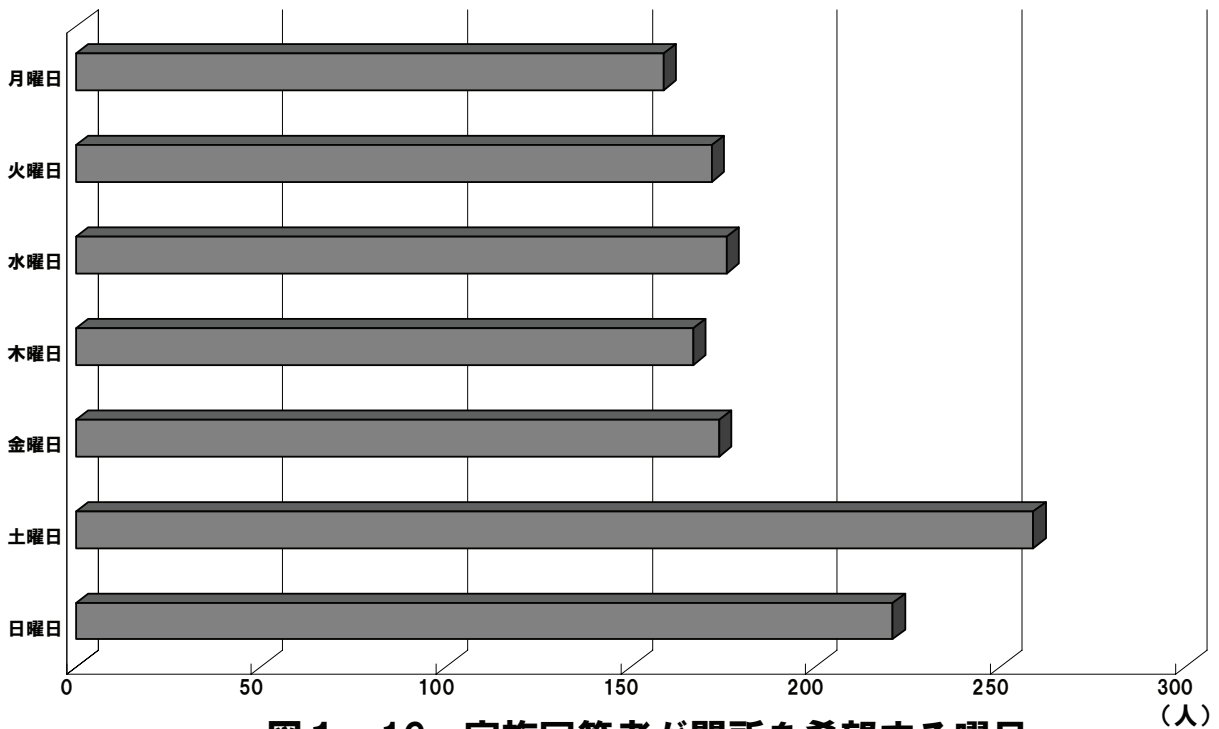


図 1 - 16 家族回答者が開所を希望する曜日

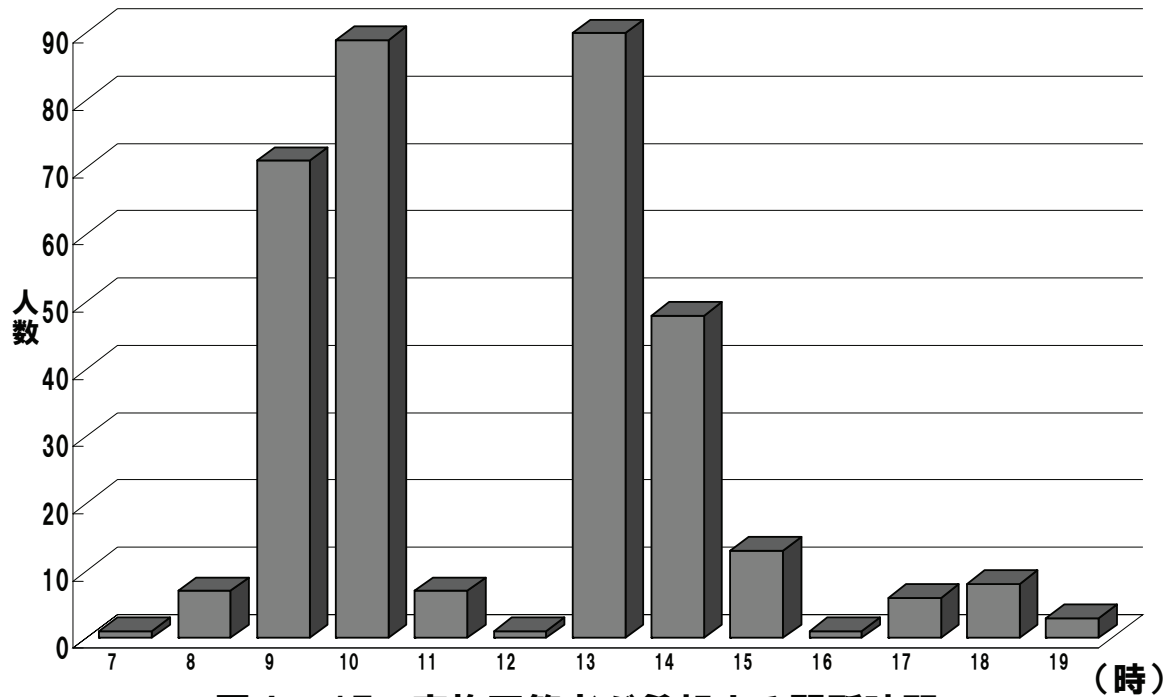


図 1 - 17 家族回答者が希望する開所時間

10 13 14

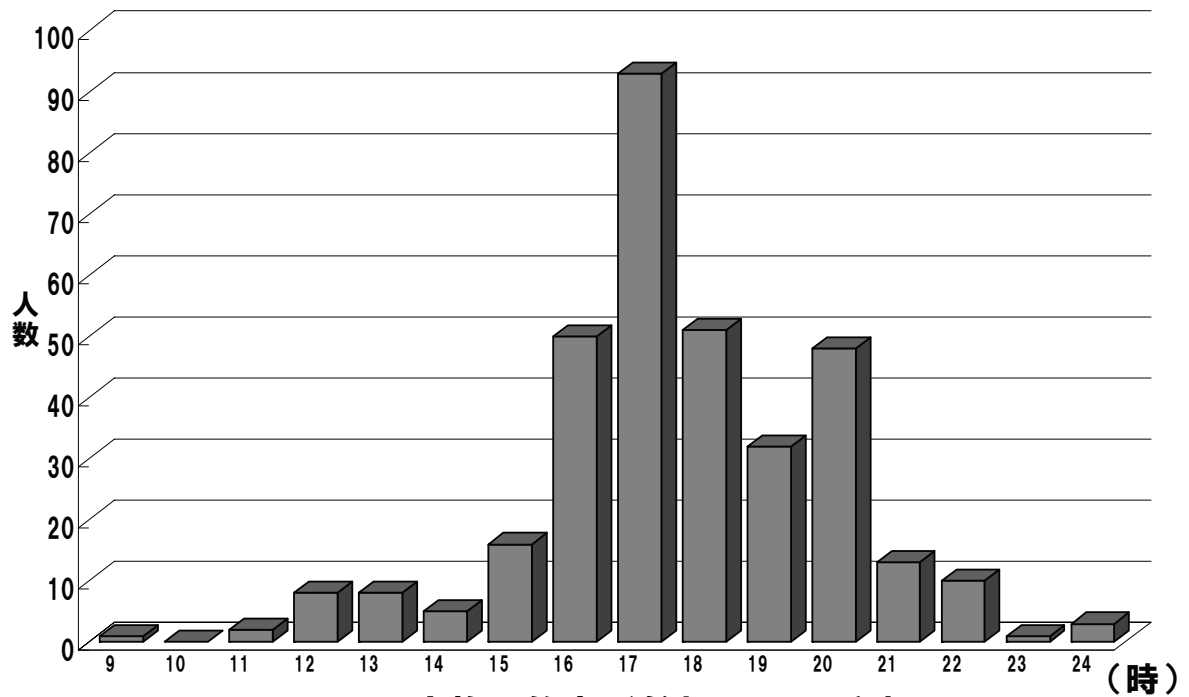


図 1 - 18 家族回答者が希望する閉所時間

16 20

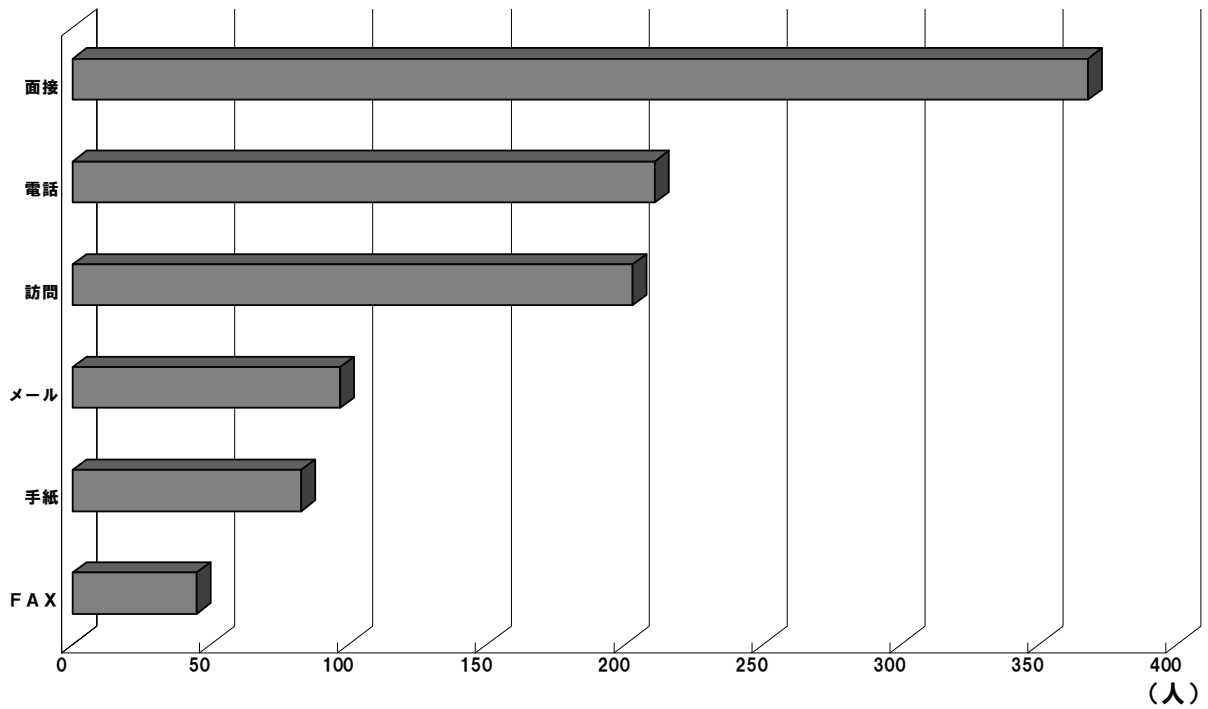


図 1-19 家族回答者が求める支援の方法

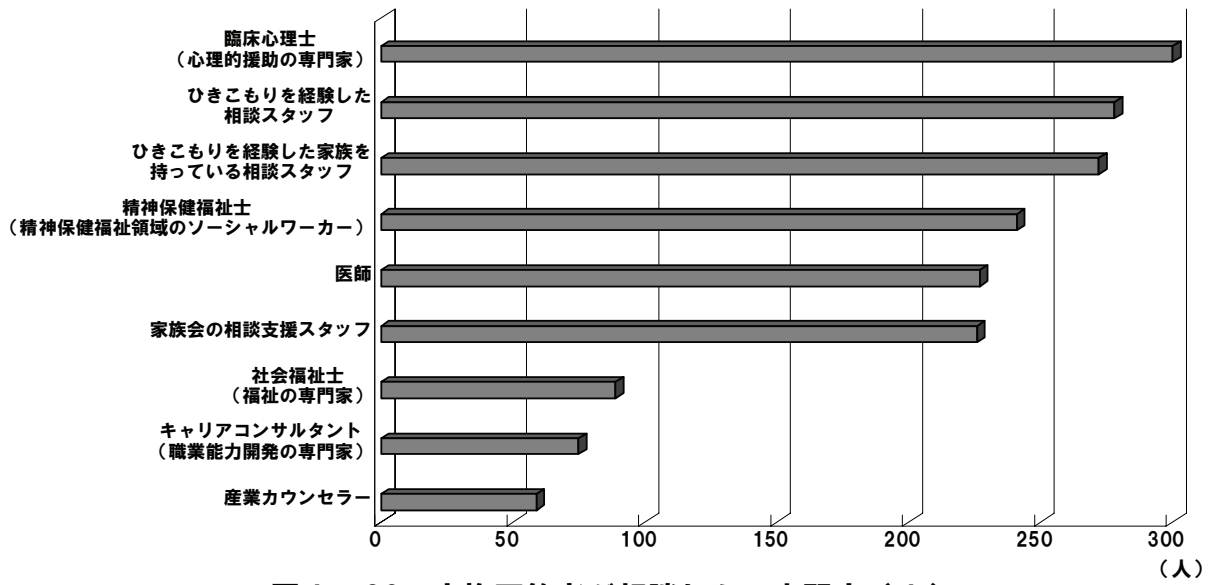


図 1-20 家族回答者が相談したい専門家 (1)

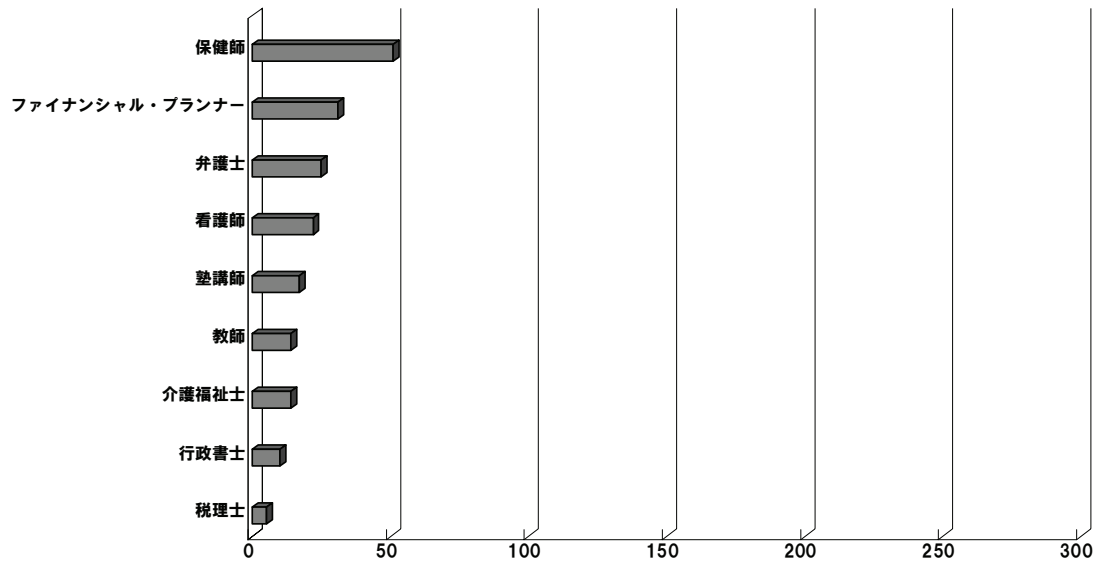


図 1-21 家族回答者が相談したい専門家 (2)

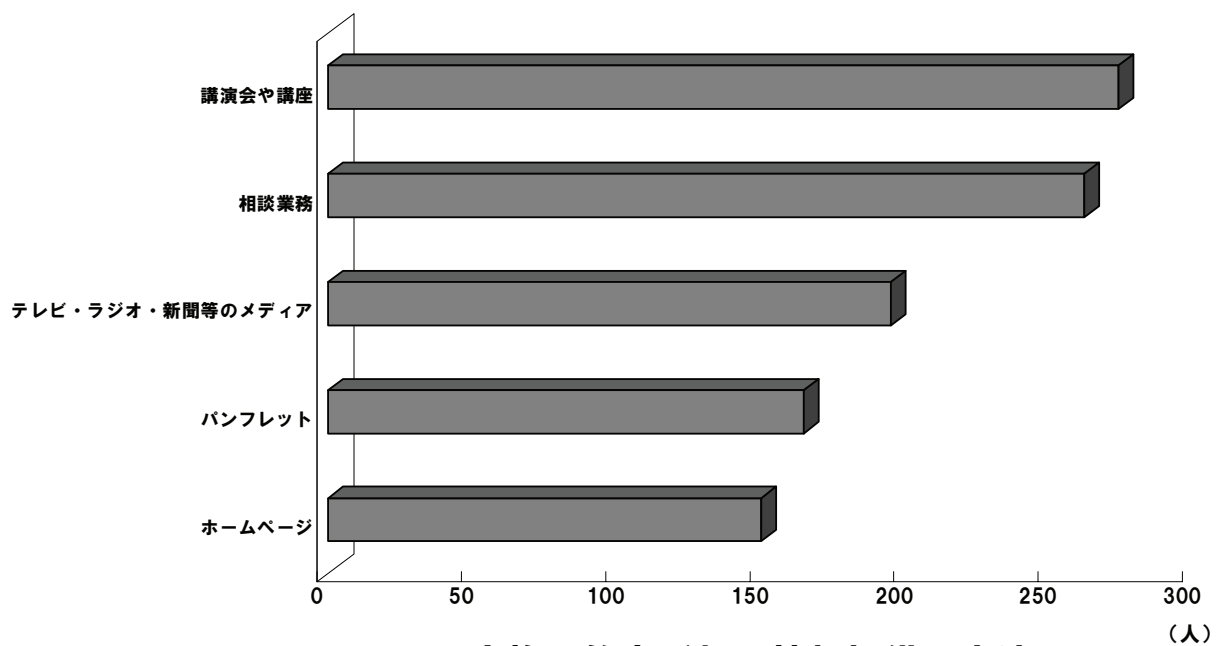


図 1-22 家族回答者が望む情報提供の方法

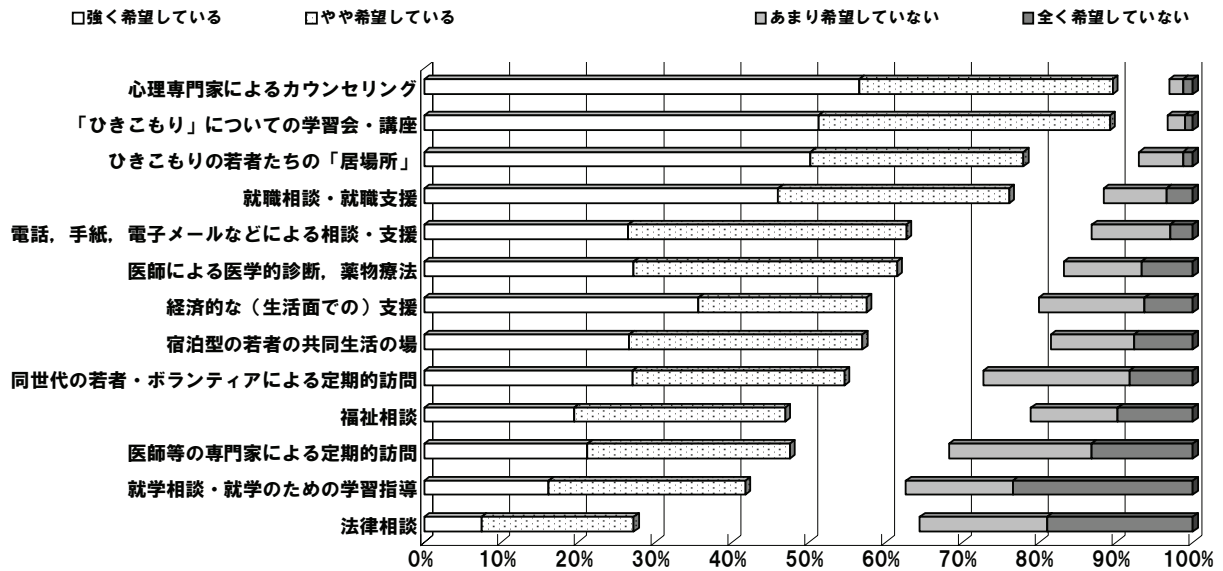


図 1-23 家族回答者が望む支援

9

8

2009

NPO

KHJ

20 11

21

83

KHJ

2006

Stefl

1985

Social Interaction Anxiety Scale

SIAS

2004

20

17

2008

表2-1 調査回答者が住んでいる場所

地方	都道府県	人数			
北海道・東北地方	山形県	6		15	
	岩手県	3			
	北海道	2			
	青森県	1	15.7		22.9%
	石川県	1			
甲信越地方	新潟県	19	26.5%		7.2%
関東地方	千葉県	21			16.9%
	神奈川県	1		7.2%	
東海地方	愛知県	6			3.6%
近畿地方	大阪府	6			
	兵庫県	5			
	京都府	3			
四国地方	香川県	2			
	高知県	2			
	徳島県	2			
不明		3			
合計		83			

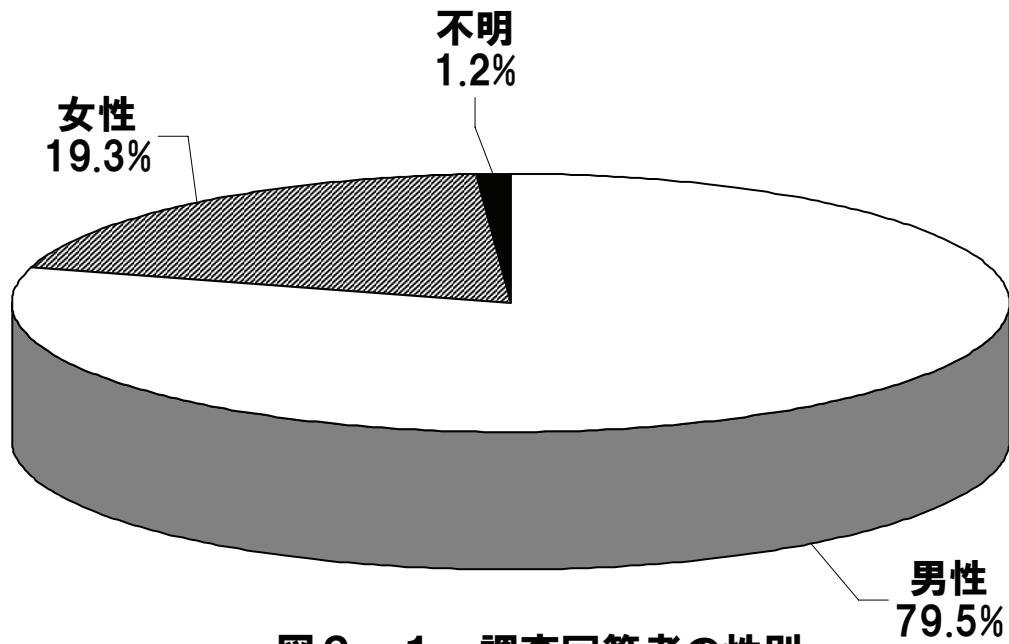


図 2 - 1 調査回答者の性別

79.5

19.3

1.2

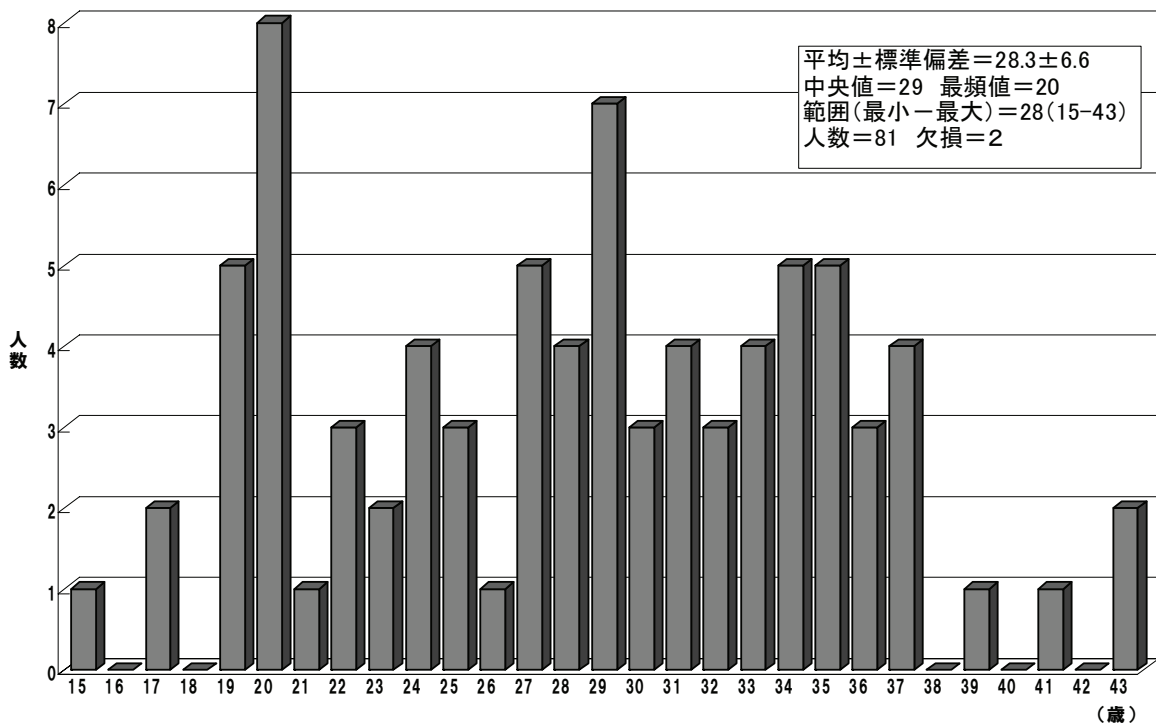


図 2 - 2 調査回答者の年齢

28.3

15

43

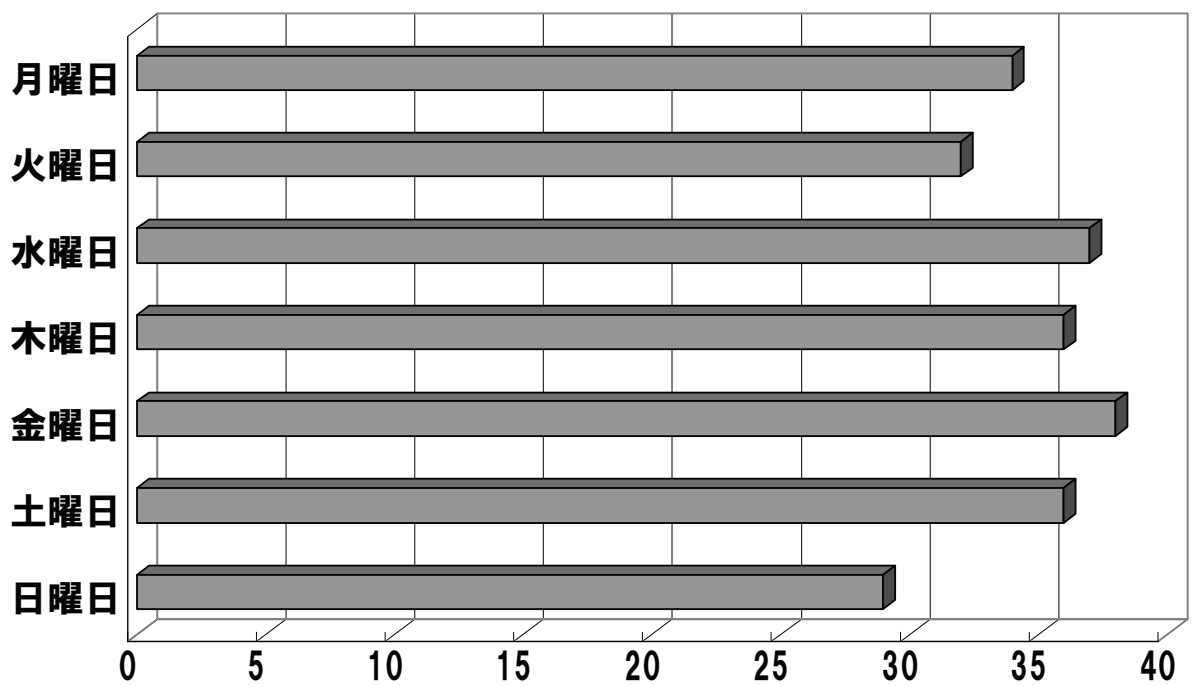


図2-3 引きこもり経験者が開所を希望する曜日

10

18

10

20

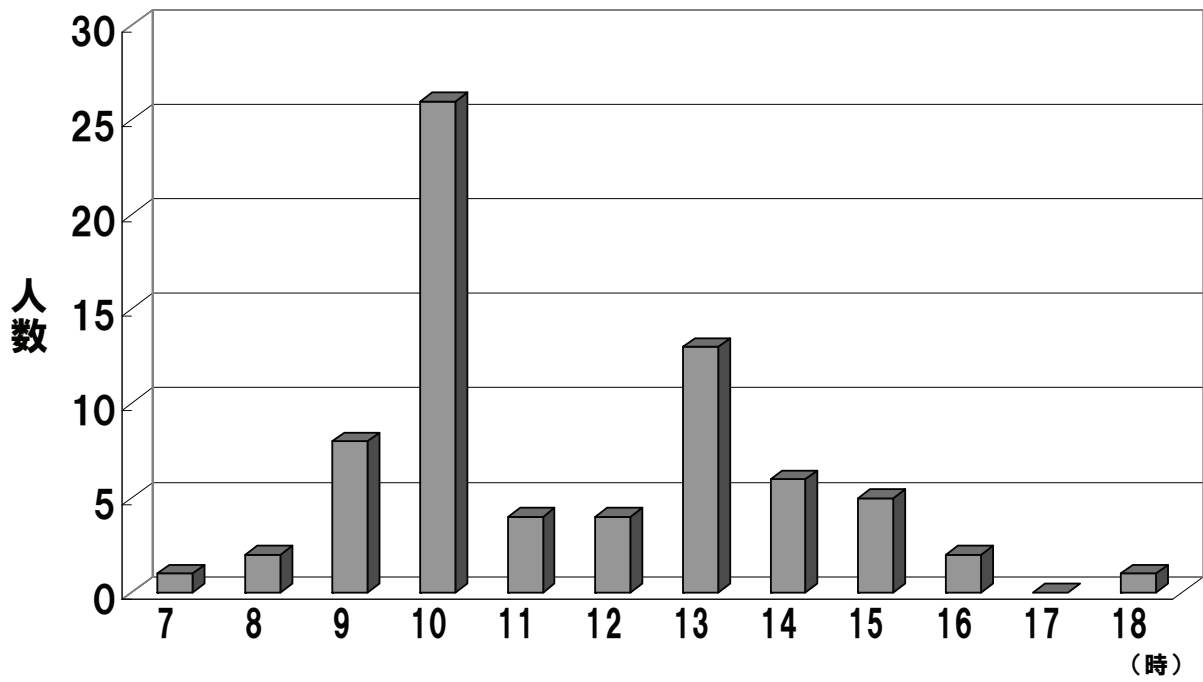


図2-4 引きこもり経験者が希望する開所時間

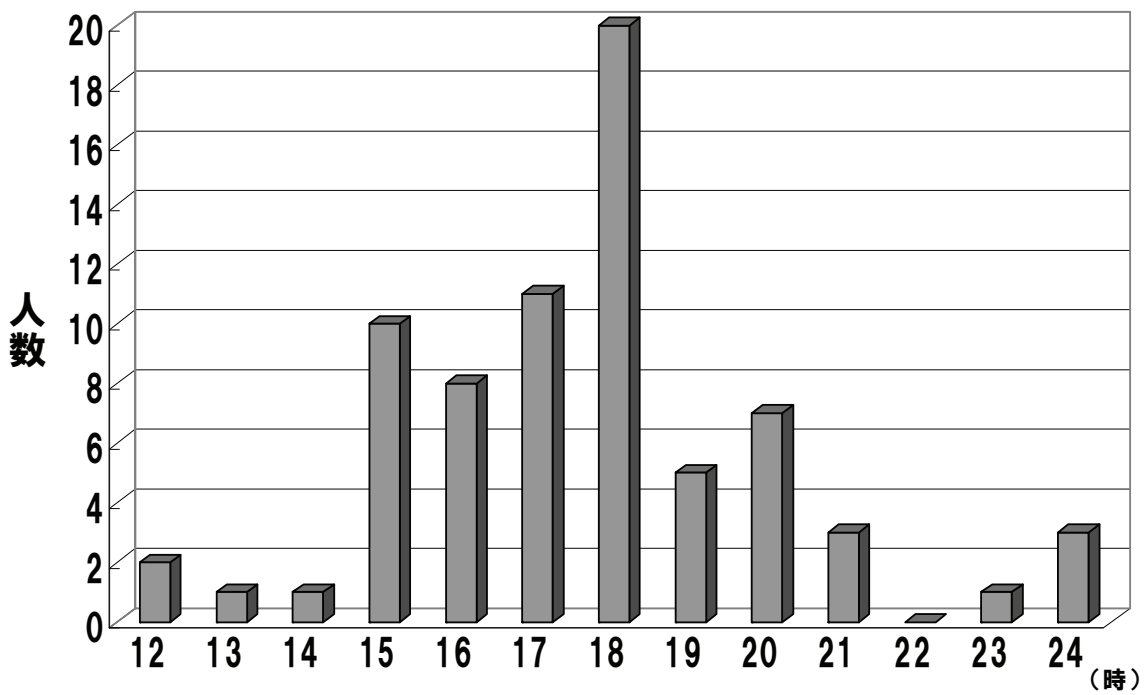


図2-5 引きこもり経験者が希望する閉所時間

70

40

10 20

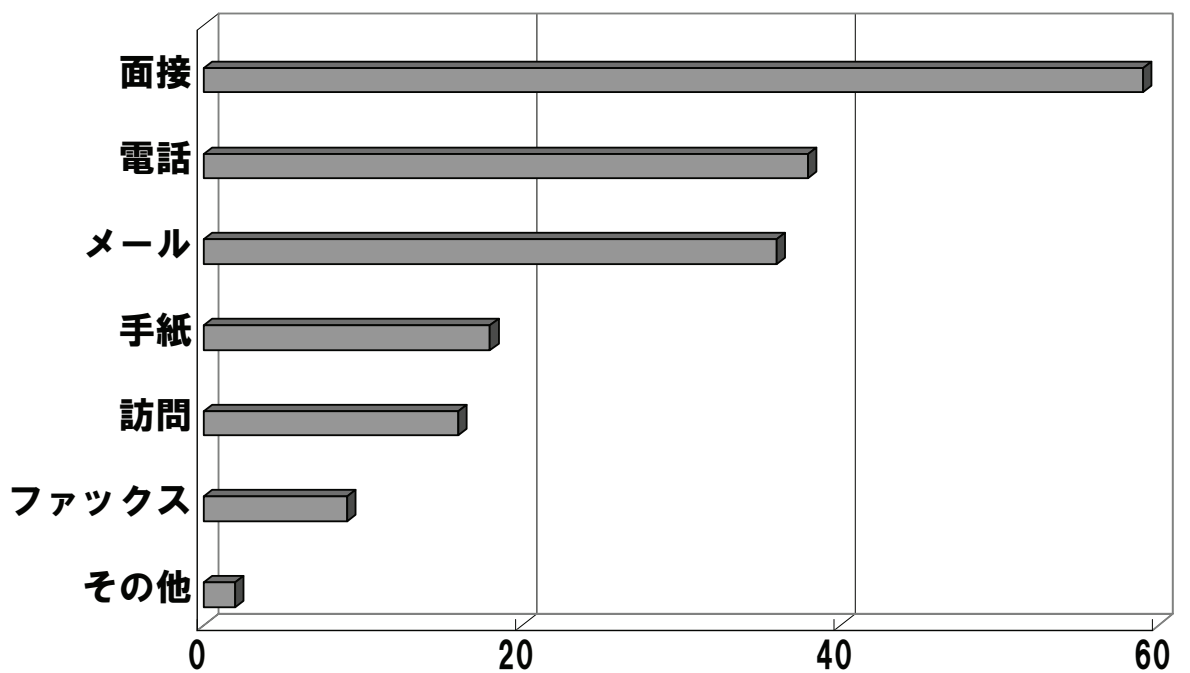


図2-6 引きこもり経験者が求める支援の方法

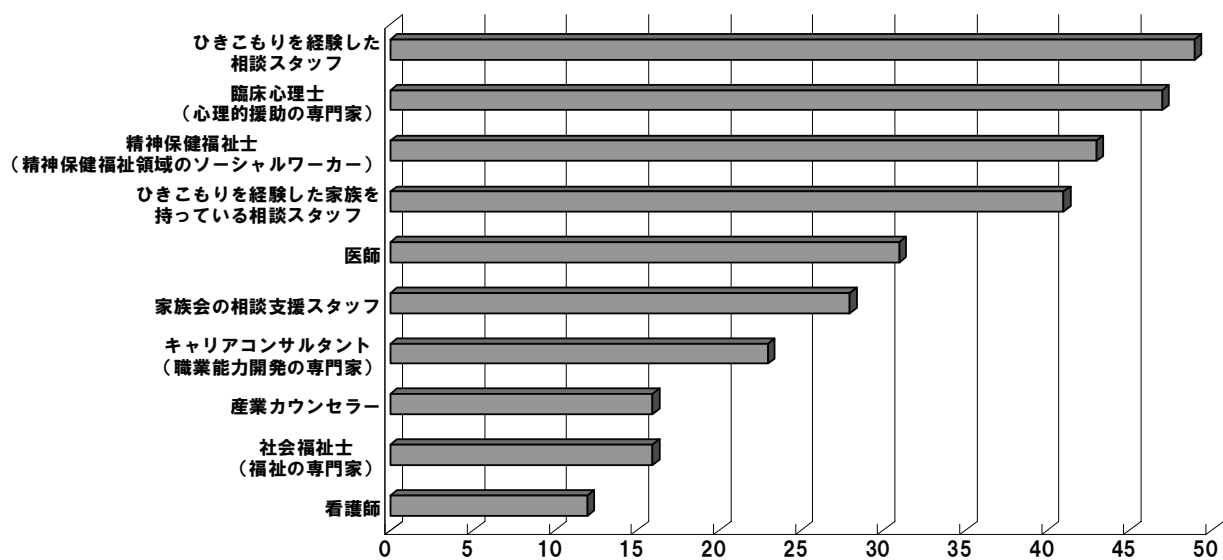


図2-7 引きこもり経験者が相談したい専門家(1)

(人)

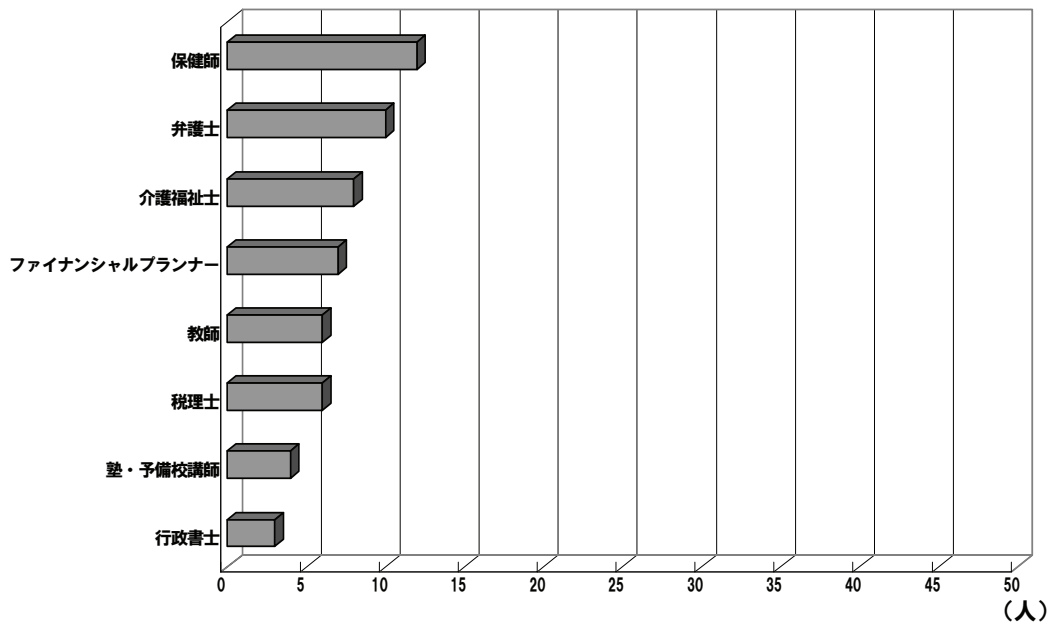


図2-8 引きこもり経験者が相談したい専門家(2)

30

20%

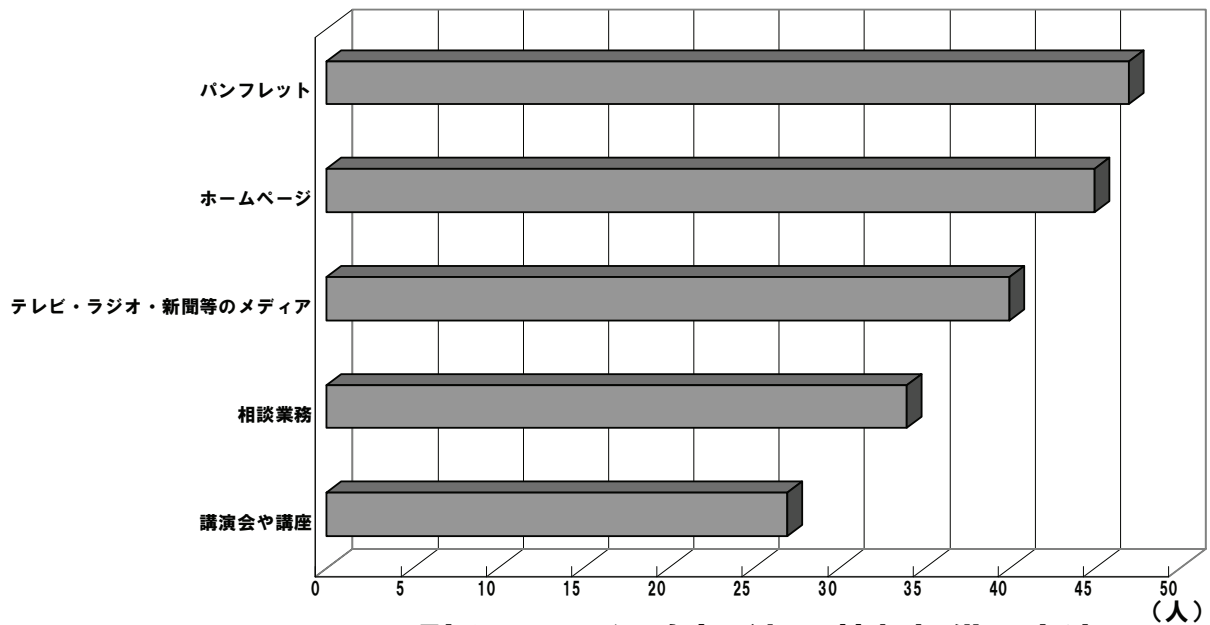


図2-9 引きこもり経験者が望む情報提供の方法

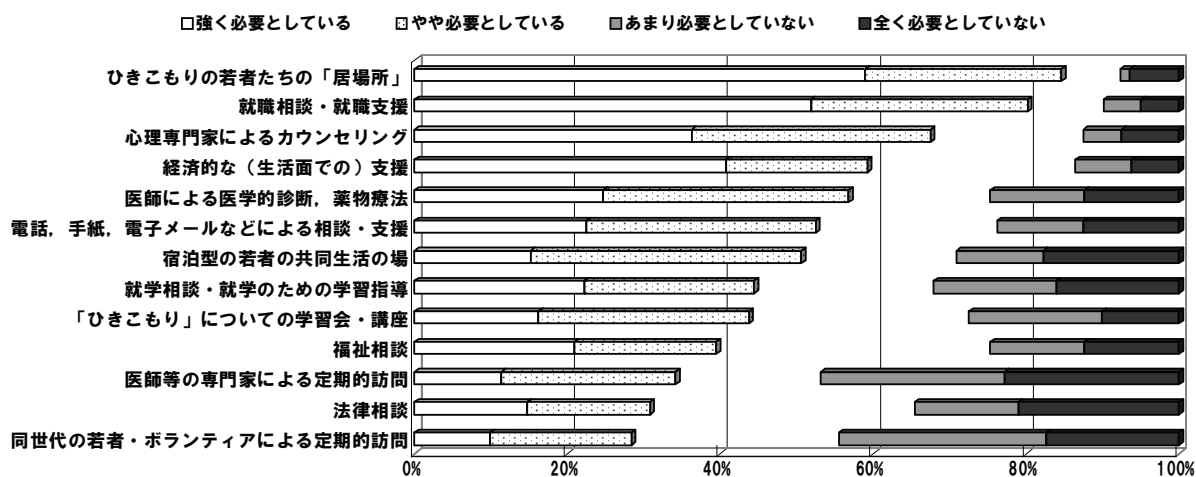


図2-10 引きこもり経験者が望む支援

10

10

80%

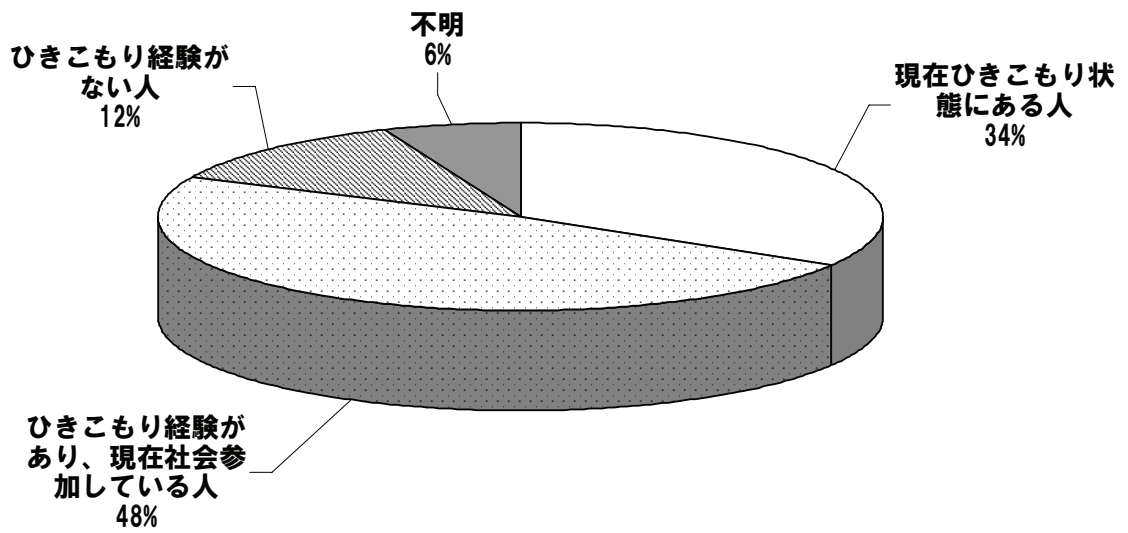


図2-11 調査回答者の引きこもり経験の有無

11

28

40

28

40

12

66

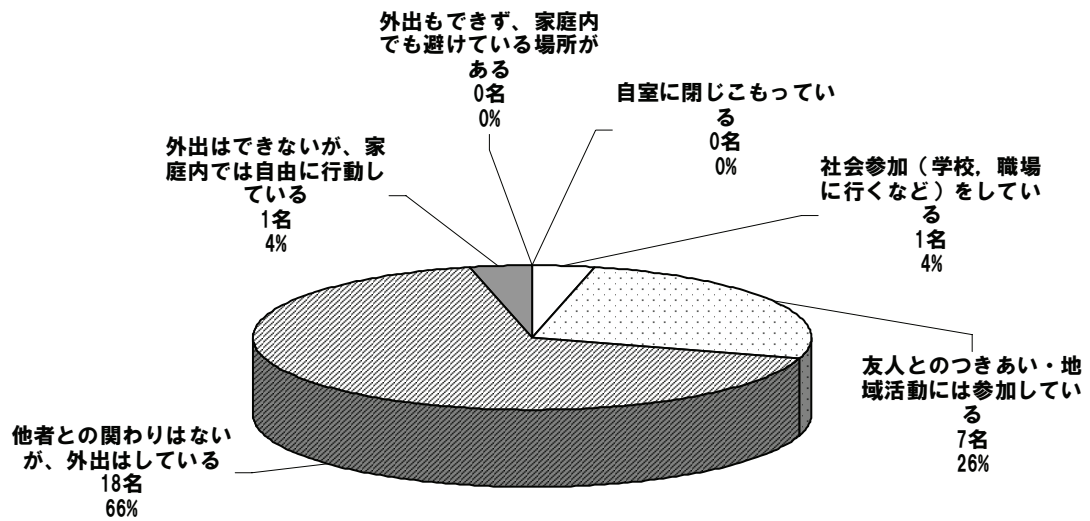


図2-12 現在ひきこもり状態にある人の引きこもりの程度

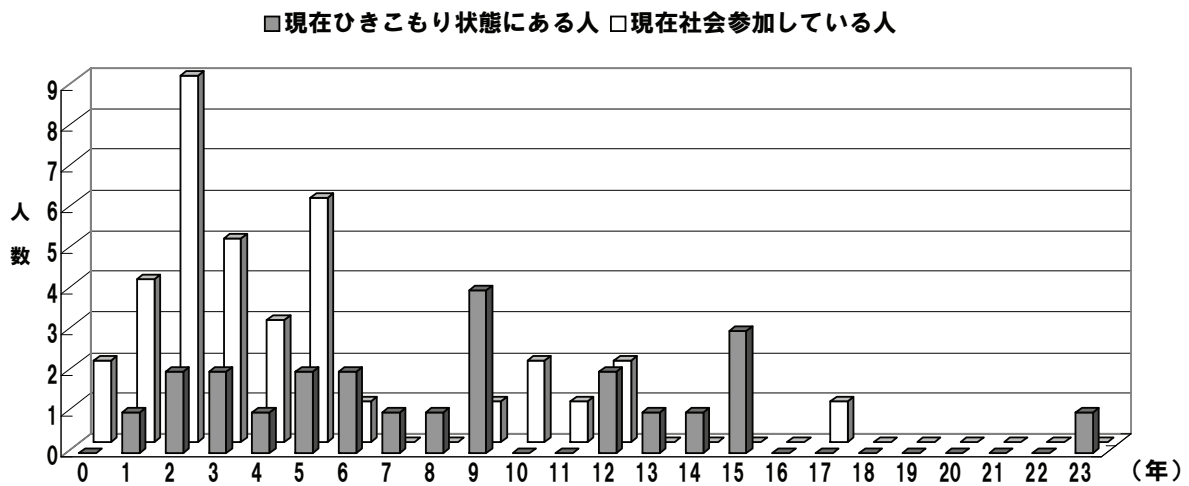


図2-13 調査回答者の引きこもり期間

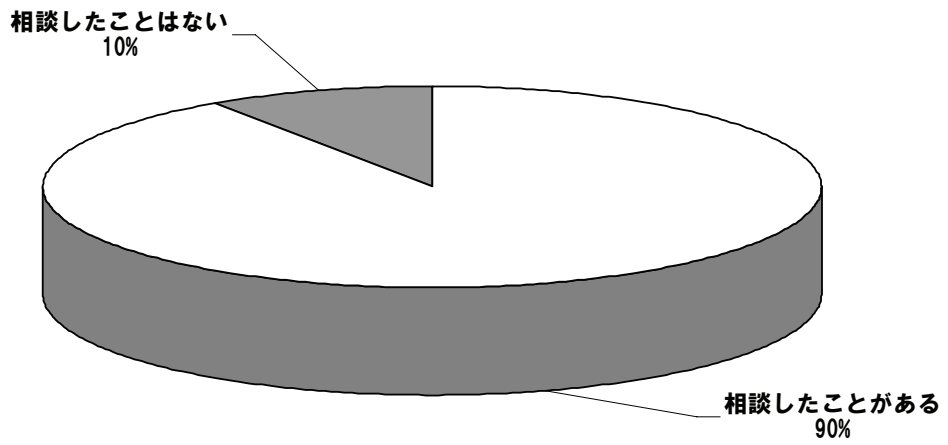


図 2-14 現在ひきこもり状態にある人の相談経験の有無

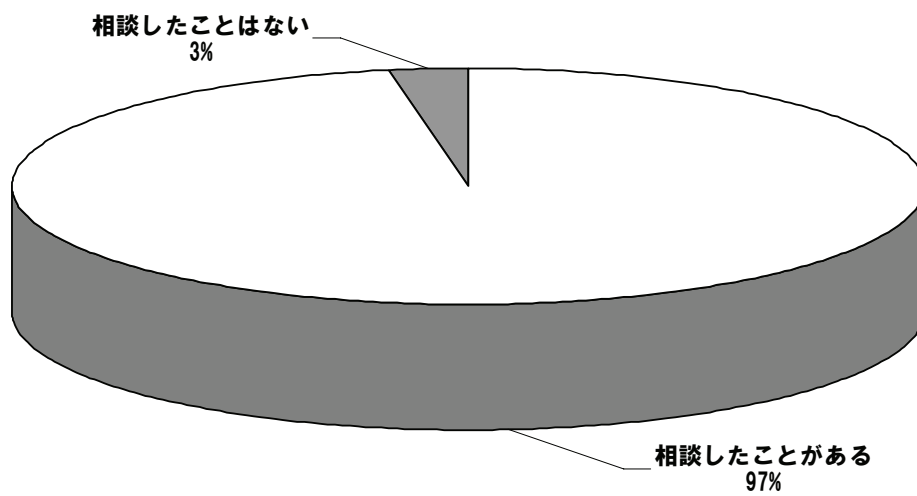


図 2-15 現在社会参加している人の相談経験の有無

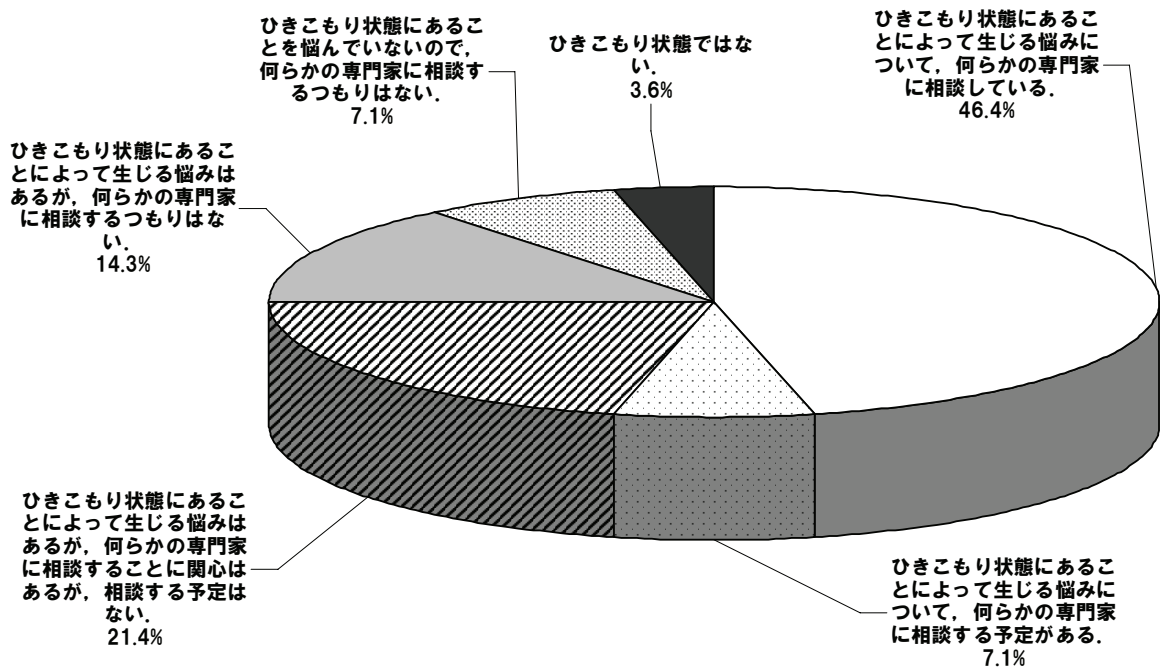


図 2-16 現在ひきこもり状態にある人の相談機関の利用状況

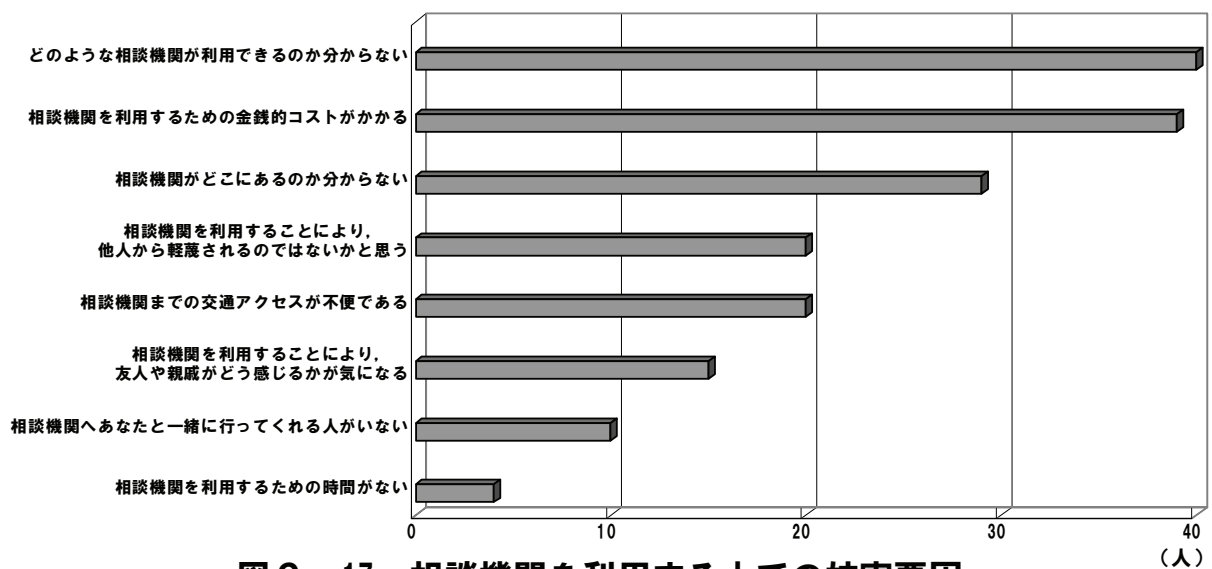


図 2-17 相談機関を利用する上での妨害要因

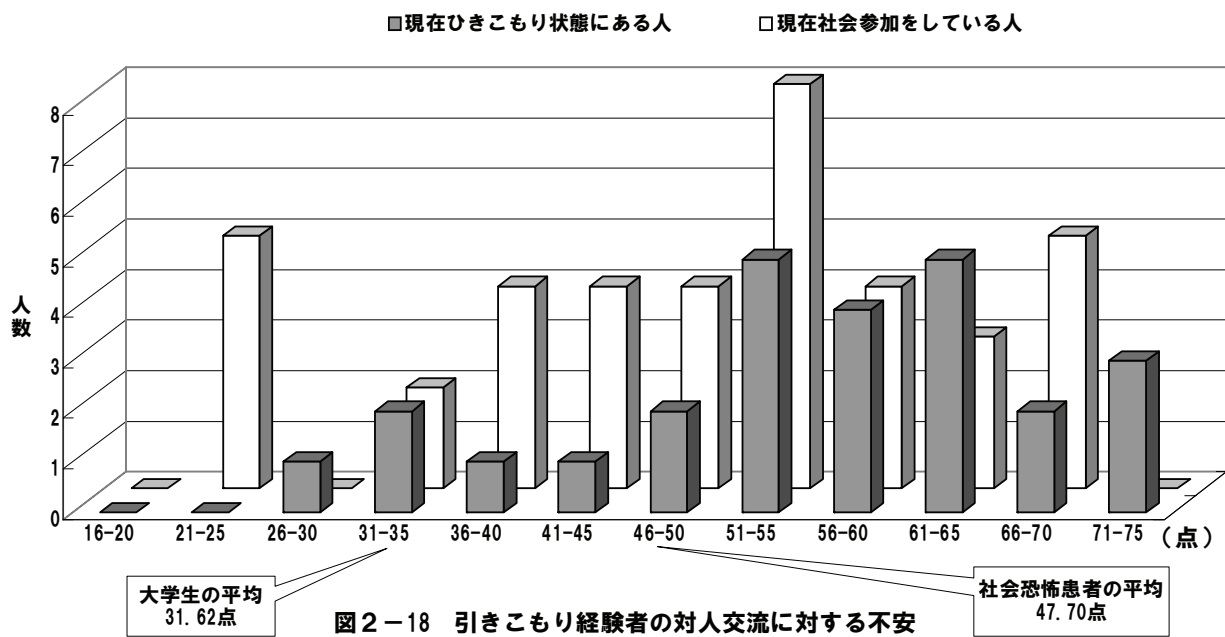


図2-18 引きこもり経験者の対人交流に対する不安

18

55.8

47.3

2004

SIAS

31.62

47.70

19

20

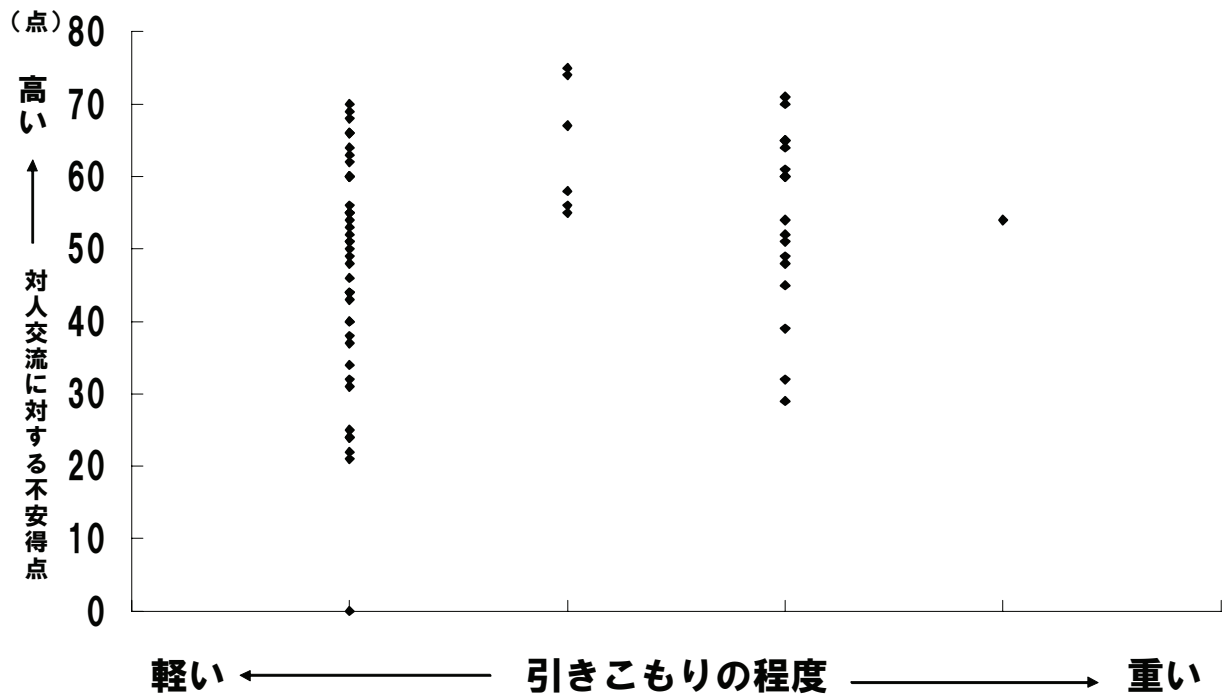
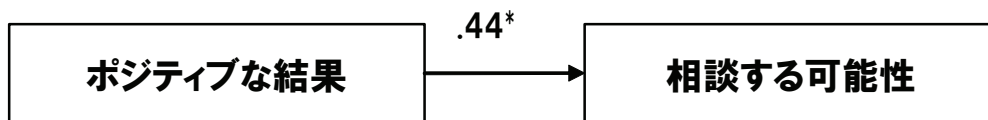


図2-19 引きこもりの程度とSIAS得点の関連



調整済み $R^2 = .16^*$

* $p < .05$

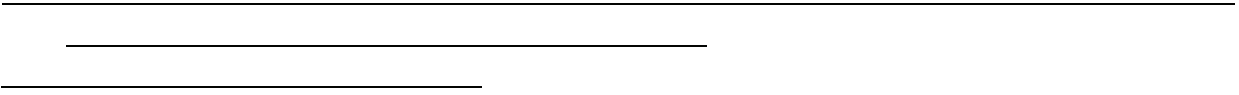
図2-20 相談に対する評価が引きこもり経験者の相談可能性に与える影響

...

...

1

/



NPO

1.

3

2

4

5

...

40

NPO

,

,

etc

1.

...

1

/

...

30 40

...

etc

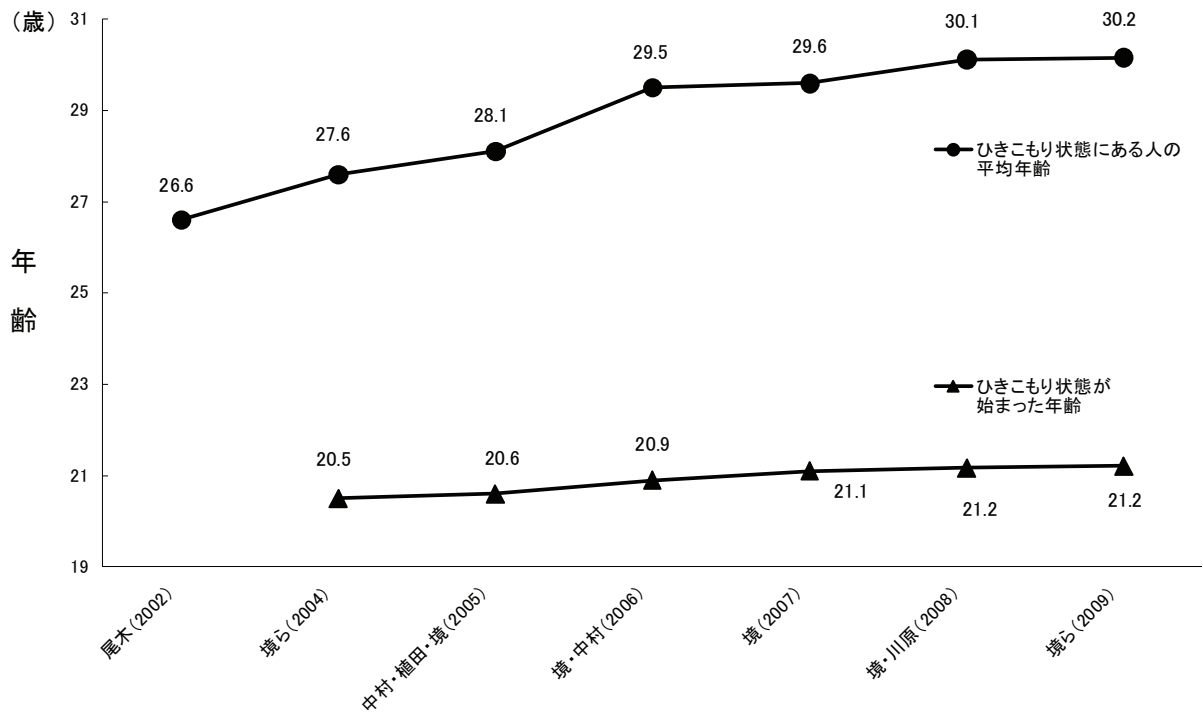


図4-1 ひきこもり本人の平均年齢とひきこもり開始年齢の時系列変化

30.2 30.1

KHJ

2003

KHJ

10 KHJ 20 30

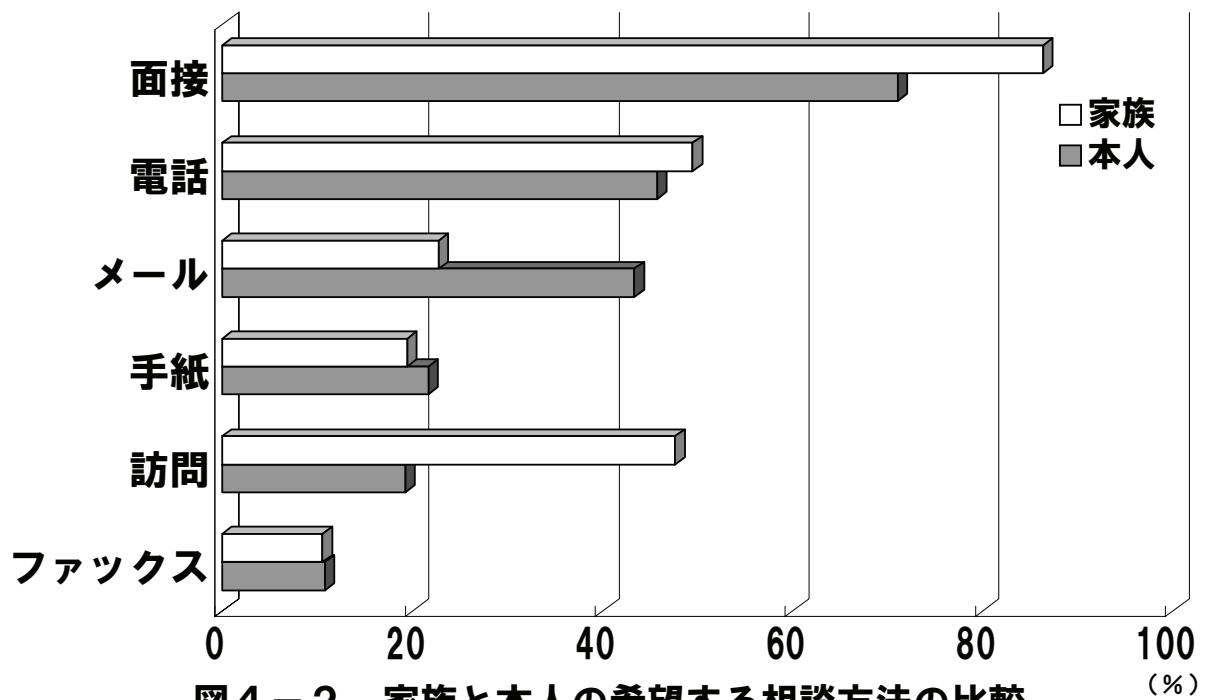


図4-2 家族と本人の希望する相談方法の比較

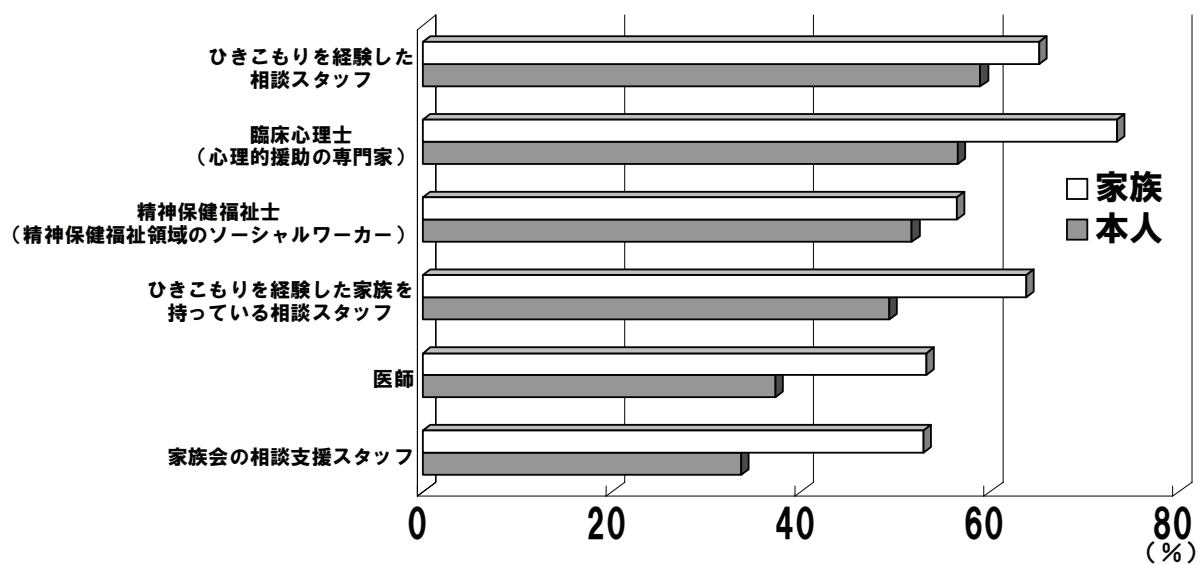
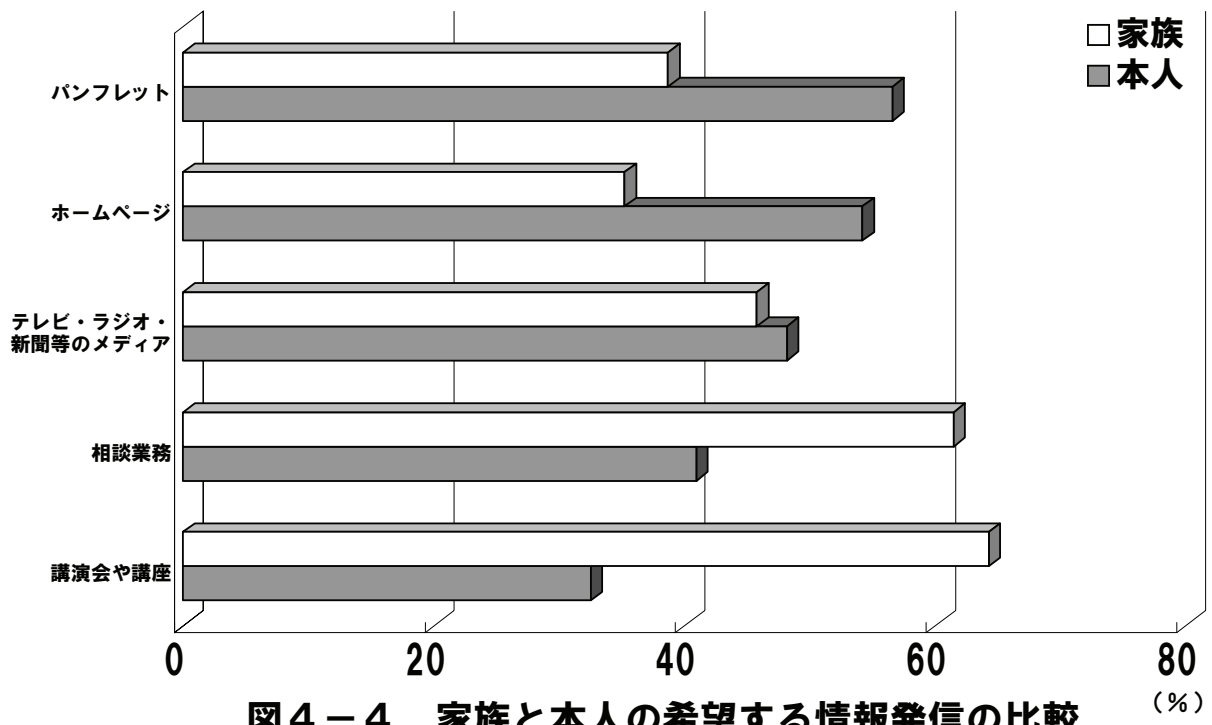


図4-3 家族と本人の希望する専門家の比較



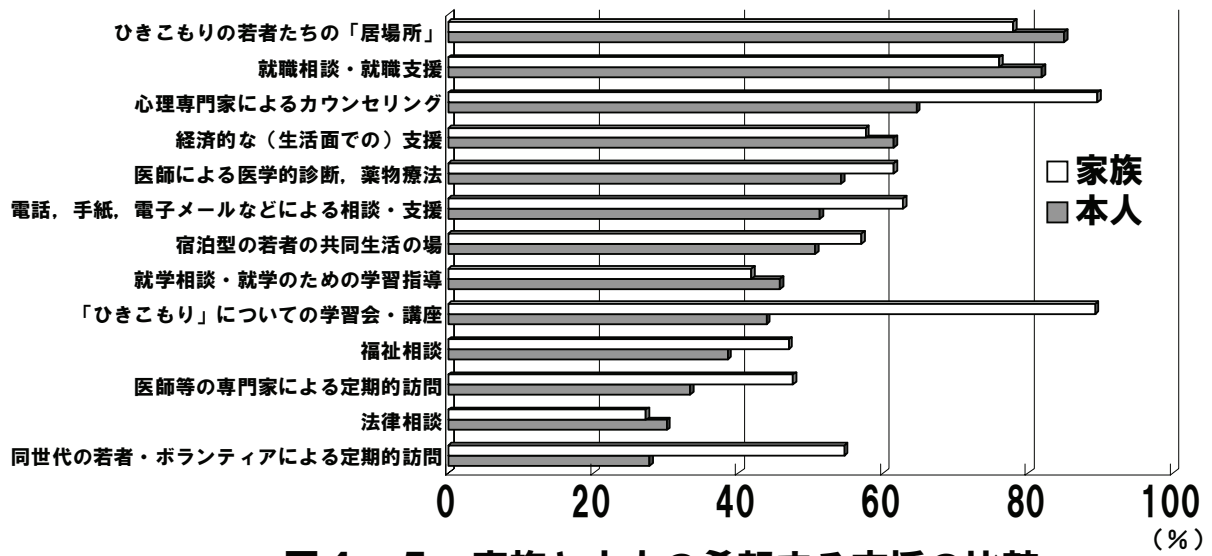


図4-5 家族と本人の希望する支援の比較

KHJ

KHJ

KHJ

KHJ

2004 Social
Phobia Scale Social Interaction Anxiety Scale
44 842 850

2008
35 49 55
2006
21 26 34
2002 600
2004
KHJ
NPO
2005
KHJ
2006
P P45
NPO KHJ 2007
KHJ
NPO KHJ 2008
KHJ

Stefl, D M & Prosperi, D C 1985 Barriers to mental service utilization
Community Mental Health Journal, 21, 167-178

アンケート協力をお願い

本調査は、「ひきこもり地域支援センター（仮称）」での支援に関する親の会のニーズを明らかにすることを目的としています。親の会のニーズを明らかにすることで、「ひきこもり地域支援センター（仮称）」にどのような支援を求めていくのかを明確にしたいと考えております。

本調査の結果は、今後のひきこもり問題への対応を発展させる資料として活用させていただきます。本調査の趣旨をご理解いただき是非ともご協力をお願い致します。

調査結果の解析において、個人名、個人の回答内容などは一切公表せず、個人情報の保護には最大限配慮致します。

なお、本調査の結果は調査実施担当者のホームページにて公開し、その成果を広く普及させるよう努力して参ります。

全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）

調査にご回答頂く上での注意点

- ① 本調査では、ひきこもり状態にある人を「ご本人」と表現し、調査に記入されているあなたのことを「ご家族」と表現しております。
- ② この質問紙には、正しい答えや間違った答えというのはありませんので、他の家族の方とは相談しないでください。
- ③ ご本人一人につき一部の質問紙にお答え下さい。ひきこもり状態にある人が二人の場合は二部お答え下さい。

調査実施担当者連絡先

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

徳島大学総合科学部 境 泉洋研究室 Tel&Fax 088-656-7191（直通）

E-mail : motohiro@ias.tokushima-u.ac.jp

ホームページ : <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/motohiro/>

A. 以下の質問について、該当するところに○をつけるか、具体的に記入してください。

1. ご本人は、社会参加（学校、職場に行くなど）をしておらず、
自宅以外での活動が長期にわたって失われている。・・・・・・ はい・いいえ
2. 本人がひきこもり状態にあることで、ご本人、又はご家族が何
らかの困難や不都合を感じている。・・・・・・ はい・いいえ
3. あなたが住んでいる場所をお答えください。→ _____ 都・道・府・県
4. ご本人からみての、あなたの立場をお答え下さい。
a. 母親 b. 父親 c. その他（具体的に _____）
5. あなたの年齢をお答え下さい。 → （ _____ 歳）
6. あなたが入会しているKHJ親の会支部会についてお答えください。
①会の名前（ _____ ） ②入会していない
7. ご本人とご家族の同・別居をお答え下さい。
a. 同居 b. 別居（別居してから _____ 年 _____ 力月）
8. ご本人の性別・年齢をお答え下さい。→ a. 男性 b. 女性
9. ご本人の年齢をお答え下さい。 → （ _____ 歳）
10. ご本人のひきこもりの期間をお答え下さい。 → （ _____ 年 _____ 力月）
11. ご本人のひきこもりの程度について、最も当てはまる数字に○を付けて下さい。
① 社会参加（学校、職場に行くなど）をしている
② 友人とのつきあい・地域活動に参加している
③ 他者との関わりはないが、外出はしている
④ 外出はできないが、家庭内では自由に行動している
⑤ 外出もできず、家庭内でも避けている場所がある
⑥ 自室に閉じこもっている
12. ひきこもり状態にある人が、ご家族に2人以上いらっしゃる方は次の間にお答えください。
該当しない方は、次のページにお進みください。

ひきこもっているご家族の人数をお答えください。 { _____ } 人

- B. ひきこもり地域支援センター（仮称）に対するニーズについてお聞きします。
以下の質問について、あてはまるものを○で囲むか、具体的に記入して下さい。

ひきこもり地域支援センター（仮称）は、都道府県・指定都市に自立支援対策を推進するための核となるセンターであり、①第一次相談機能としての役割を担う、②各関係機関のネットワークの連携強化を図る、③地域のひきこもり対策にとって必要な情報を広く提供する、以上3点を目的に新たに設置される施設です。

1. 何時に相談業務を開始して欲しいですか？ 午前・午後のどちらかを○で囲んで、
（ ）の中に数字を記入してください。 → 午前・午後（ ）時
2. 何時に相談業務を終了して欲しいですか？ 午前・午後のどちらかを○で囲んで、
（ ）の中に数字を記入してください。 → 午前・午後（ ）時
3. 何曜日に相談業務をして欲しいですか？あなたが希望する曜日をいくつでも○で
囲んでください。

→ 月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日

4. あなたが希望する相談方法をいくつでも○で囲んでください。その他を選んだ場合は、
（ ）の中に希望する相談方法を記入してください。

→ a. 面接 b. 訪問 c. 電話 d. メール
e. ファックス f. 手紙 g. その他（ ）

5. どのような専門性を持ったスタッフに相談したいですか？以下の選択肢から、あ
てはまる専門性の【 】の中に○をつけてください。○はいくつつけて構いません。
その他を選んだ場合は、（ ）の中に希望する専門性を記入してください。

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 【 】 医師 | 【 】 看護師 | 【 】 介護福祉士 |
| 【 】 臨床心理士
(心理的援助の専門家) | 【 】 精神保健福祉士（精神保健福
祉領域のソーシャルワーカー） | 【 】 社会福祉士
(福祉の専門家) |
| 【 】 塾、予備校講師 | 【 】 産業カウンセラー | 【 】 保健師 |
| 【 】 教師 | 【 】 キャリアコンサルタント
(職業能力開発の専門家) | 【 】 行政書士 |
| 【 】 弁護士 | 【 】 ファイナンシャルプランナー | 【 】 税理士 |
| 【 】 家族会の相談支援スタッフ | 【 】 ひきこもりを経験した相談スタッフ | |
| 【 】 ひきこもりを経験した家族を持っている相談スタッフ | | |
| 【 】 その他（ ） | | |

6. あなたが相談するとしたら、どのようなことを相談したいですか？以下に自由にお書きください。

7. どのような情報があると、ひきこもりの問題の解決に役立つと思いますか？以下に自由にお書きください。

8. 情報発信の方法として、あなたが希望するものをいくつかでも○で囲んでください。

- a. 相談業務中での情報提供 b. パンフレットによる情報発信
c. ホームページによる情報発信 d. 講演会や講座による情報発信
e. テレビ・ラジオ・新聞等のメディアによる情報発信
f. その他(_____)

9. 以下の支援は、あなたにとってどれくらい必要ですか？「1：全く必要としていない」から「5：強く必要としている」の5つの選択肢の中から、あてはまる数字を○で囲んでください。

	全く必要としていない	あまり必要としていない	どちらでもない	やや必要としている	強く必要としている
1 同世代の若者・ボランティアによる定期的訪問	1	2	3	4	5
2 医師等の専門家による定期的訪問	1	2	3	4	5
3 ひきこもりの若者たちの「居場所」	1	2	3	4	5
4 宿泊型の若者の共同生活の場	1	2	3	4	5
5 「ひきこもり」についての学習会・講座	1	2	3	4	5
6 就職相談・就職支援	1	2	3	4	5
7 心理専門家によるカウンセリング	1	2	3	4	5
8 医師による医学的診断，薬物療法	1	2	3	4	5
9 電話，手紙，電子メールなどによる相談・支援	1	2	3	4	5
10 経済的な（生活面での）支援	1	2	3	4	5
11 就学相談・就学のための学習指導	1	2	3	4	5
12 法律相談	1	2	3	4	5
13 福祉相談	1	2	3	4	5

10.「相談窓口」、「関係機関の連携」、「情報発信」という現在の事業計画以外のことで、ひきこもり地域支援センター（仮称）にどのような支援をして欲しいですか？
以下に自由にお書きください。

11.今後、全国ひきこもり KHJ 親の会に望む活動について、以下に自由にお書きください。

12.本調査についてお気づきの点がありましたら、以下に自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケート協力のお願い

本調査は、「ひきこもり地域支援センター（仮称）」での支援に関する親の会のニーズを明らかにすることを目的としています。親の会のニーズを明らかにすることで、「ひきこもり地域支援センター（仮称）」にどのような支援を求めていくのかを明確にしたいと考えております。

本調査の結果は、今後のひきこもり問題への対応を発展させる資料として活用させていただきます。本調査の趣旨をご理解いただき是非ともご協力をお願い致します。

調査結果の解析において、個人名、個人の回答内容などは一切公表せず、個人情報の保護には最大限配慮致します。

なお、本調査の結果は調査実施担当者のホームページにて公開し、その成果を広く普及させるよう努力して参ります。

全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）

調査実施担当者連絡先

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

徳島大学総合科学部 境 泉洋研究室 Tel&Fax 088-656-7191（直通）

E-mail : motohiro@ias.tokushima-u.ac.jp

ホームページ : <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/motohiro/>

A. 以下の質問について、あてはまるものを○で囲むか、具体的に記入して下さい。

1. あなたが住んでいる場所をお答え下さい。 → _____ 都・道・府・県

2. あなたの年齢をお答え下さい。 → (_____ 歳)

3. あなたの性別をお答え下さい。 → a. 男性 b. 女性

B. ひきこもり地域支援センター（仮称）に対するニーズについてお聞きします。
以下の質問について、あてはまるものを○で囲むか、具体的に記入して下さい。

ひきこもり地域支援センター（仮称）は、都道府県・指定都市に自立支援対策を推進するための核となるセンターであり、①第一次相談機能としての役割を担う、②各関係機関のネットワークの連携強化を図る、③地域のひきこもり対策にとって必要な情報を広く提供する、以上3点を目的に新たに設置される施設です。

1. 何時に相談業務を開始して欲しいですか？ 午前・午後のどちらかを○で囲んで、
_____ の中に数字を記入してください。

→ 午前・午後 (_____) 時

2. 何時に相談業務を終了して欲しいですか？ 午前・午後のどちらかを○で囲んで、
_____ の中に数字を記入してください。

→ 午前・午後 (_____) 時

3. 何曜日に相談業務をして欲しいですか？あなたが希望する曜日をいくつでも○で
囲んでください。

→ 月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日

4. あなたが希望する相談方法をいくつでも○で囲んでください。その他を選んだ場
合は、_____ の中に希望する相談方法を記入してください。

→ a. 面接 b. 訪問 c. 電話 d. メール

e. ファックス f. 手紙 g. その他 (_____)

5. どのような専門性を持ったスタッフに相談したいですか？以下の選択肢から、あてはまる専門性の【 】の中に○をつけてください。○はいくつつけて構いません。その他を選んだ場合は、()の中に希望する専門性を記入してください。

- | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 【 】 医師 | 【 】 看護師 | 【 】 介護福祉士 |
| 【 】 臨床心理士
(心理的援助の専門家) | 【 】 精神保健福祉士(精神保健福祉領域のソーシャルワーカー) | 【 】 社会福祉士
(福祉の専門家) |
| 【 】 塾・予備校講師 | 【 】 産業カウンセラー | 【 】 保健師 |
| 【 】 教師 | 【 】 キャリアコンサルタント
(職業能力開発の専門家) | 【 】 行政書士 |
| 【 】 弁護士 | 【 】 ファイナンシャルプランナー | 【 】 税理士 |
| 【 】 家族会の相談支援スタッフ | 【 】 ひきこもりを経験した相談スタッフ | |
| 【 】 ひきこもりを経験した家族を持っている相談スタッフ | | |
| 【 】 その他(_____) | | |

6. あなたが相談するとしたら、どのようなことを相談したいですか？以下に自由にお書きください。

7. どのような情報があると、ひきこもりの問題の解決に役立つと思いますか？以下に自由にお書きください。

8. 情報発信の方法として、あなたが希望するものをいくつかでも○で囲んでください。

- a. 相談業務の中での情報提供 b. パンフレットによる情報発信
 c. ホームページによる情報発信 d. 講演会や講座による情報発信
 e. テレビ・ラジオ・新聞等のメディアによる情報発信
 f. その他(_____)

9. 以下の支援は、あなたにとってどれくらい必要ですか？「1：全く必要としていない」から「5：強く必要としている」の5つの選択肢の中から、あてはまる数字を○で囲んでください。

	全く必要と していない	あまり必要と していない	どちらでも ない	やや必要と している	強く必要と している
1 同世代の若者・ボランティアによる定期的訪問	1	2	3	4	5
2 医師等の専門家による定期的訪問	1	2	3	4	5
3 ひきこもりの若者たちの「居場所」	1	2	3	4	5
4 宿泊型の若者の共同生活の場	1	2	3	4	5
5 「ひきこもり」についての学習会・講座	1	2	3	4	5
6 就職相談・就職支援	1	2	3	4	5
7 心理専門家によるカウンセリング	1	2	3	4	5
8 医師による医学的診断，薬物療法	1	2	3	4	5
9 電話，手紙，電子メールなどによる相談・支援	1	2	3	4	5
10 経済的な（生活面での）支援	1	2	3	4	5
11 就学相談・就学のための学習指導	1	2	3	4	5
12 法律相談	1	2	3	4	5
13 福祉相談	1	2	3	4	5

10. 「相談窓口」、「関係機関の連携」、「情報発信」という現在の事業計画以外のことで、ひきこもり地域支援センター（仮称）にどのような支援をして欲しいですか？
以下に自由にお書きください。

11. 今後、全国ひきこもりKHJ親の会に望む活動について、以下に自由にお書きください。

12. 本調査についてお気づきの点がありましたら、以下に自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

なお、次からのページには調査実施担当者が現在行っている、ひきこもり経験者の相談機関の利用に関する調査があります。ご協力いただける方は、次のページにお進みいただけますと幸いです。

以下の調査は、平成 20 年度科学研究費補助金若手研究 (B)「ひきこもり状態に対する臨床心理的地域援助システムのあり方に関する研究」及び平成 20 年度徳島大学学長裁量経費「ひきこもり日英比較研究」の助成を受けて実施されるものです。

NPO 法人全国引きこもり K H J 親の会が実施する全国調査とは別のものですが、報告書には結果を記載致します。ひきこもり状態のより詳細な実態把握のために行われる調査ですので、調査の趣旨をご理解頂き、ご協力頂ける方のみご記入下さい。

以下の調査では、特に 相談機関の利用 についてたずねる調査が中心となっております。

C. 以下の質問について、あてはまるものを○で囲むか、具体的に記入して下さい。

1. 現在、あなたは就学、就労、家庭外の交流などの社会参加を避けている状態（以下「ひきこもり状態」と表記する。）ですか？

→ a. はい b. いいえ

2. 過去に「ひきこもり状態」を経験されたことはありますか？

→ a. はい b. いいえ

**1. 2. の質問に両方とも「b. いいえ」と答えた方は、ここでアンケートは終了です。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。**

3. 「ひきこもり状態」はどれくらい続いていますか？または、どれくらい続きましたか？

→ (_____ 年 _____ ヶ月)

4. あなたの現在のひきこもりの程度をお答え下さい。

- a. 社会参加（学校、職場に行くなど）をしている
- b. 友人とのつきあい・地域活動には参加している
- c. 他者との関わりはないが、外出はしている
- d. 外出はできないが、家庭内では自由に行動している
- e. 外出もできず、家庭内でも避けている場所がある
- f. 自室に閉じこもっている

5. 今までに「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みについて、何らかの専門家に相談したことがありますか？

→ a. はい b. いいえ

6. 現在のあなたの状態について、あてはまるものを1つだけ○で囲んでください。

- a. 「ひきこもり状態」ではない。
- b. 「ひきこもり状態」にあることを悩んでいないので、何らかの専門家に相談するつもりはない。
- c. 「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みはあるが、何らかの専門家に相談するつもりはない。
- d. 「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みについて、何らかの専門家に相談することに関心はあるが、相談する予定はない。
- e. 「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みについて、何らかの専門家に相談する予定がある。
- f. 「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みについて、何らかの専門家に相談している。

7. 今現在、あなたが「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みについて何らかの専門家に相談する可能性は何%ですか？「絶対に相談しない」を0%、「必ず相談する」を100%として数字でお答えください。

→ () %

D. あなたが「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みを何らかの専門家に相談する場合、障害になると感じるものを、以下の項目の()に○をつけて下さい。(複数選択可)

- 現在相談されている場合は、相談する際に障害だと感じるものに○をつけて下さい。
- 現在「ひきこもり状態」でない方は、当時のことを振り返ってお答えください。

- 1. () どのような相談機関が利用できるのか分からない
- 2. () 相談機関がどこにあるのか分からない
- 3. () 相談機関までの交通アクセスが不便である
- 4. () 相談機関へあなたと一緒にしてくれる人がいない
- 5. () 相談機関を利用することにより、他人から軽蔑されるのではないかと思う
- 6. () 相談機関を利用することにより、友人や親戚がどう感じるかが気になる
- 7. () 相談機関を利用するための金銭的コストがかかる
- 8. () 相談機関を利用するための時間がない

E. 以下に20項目の質問があります。各項目をよく読んで、あなたにあてはまる
ところに○をつけて下さい。

	ま っ た く あ て は ま ら な い	少 し あ て は ま る	あ る 程 度 あ て は ま る	か な り あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る
1 目上の人（先生、上司など）と話さなければならない時、緊張する	0	1	2	3	4
2 人と目を合わせるの難しい	0	1	2	3	4
3 自分のことや自分の気持ちについて話す時、緊張する	0	1	2	3	4
4 同僚とうまくやっていくのは難しいと感じる	0	1	2	3	4
5 同年代の人と友達になるのはたやすい	0	1	2	3	4
6 道で知り合いに会うと緊張する	0	1	2	3	4
7 社会的に人とつきあうのは苦痛である	0	1	2	3	4
8 誰かと2人っきりになると緊張する	0	1	2	3	4
9 パーティなどで人と会うのは平気だ	0	1	2	3	4
10 人と話すのは難しい	0	1	2	3	4
11 話題を見つけるのはたやすい	0	1	2	3	4
12 自分を表現するとき、ぎこちないと思われるのではないかと心配する	0	1	2	3	4
13 人の意見に反対するのは難しい	0	1	2	3	4
14 魅力的な異性と話すのは難しい	0	1	2	3	4
15 人前で何を話したらよいかかわからないと心配する	0	1	2	3	4
16 よく知らない人とつきあうのは緊張する	0	1	2	3	4
17 話をしている時、恥ずかしいことを言っているのではないかと感じる	0	1	2	3	4
18 集団でいる時、自分は無視されているのではないかと心配する	0	1	2	3	4
19 集団でつきあうのは緊張する	0	1	2	3	4
20 あまり知らない人に会った時、あいさつするかどうかわからない	0	1	2	3	4

F. もし、あなたが「ひきこもり状態」にあることによって生じる悩みを何らかの専門家に相談するとしたら、どのようなことを考えますか？また、相談した結果どのようになるとお思いますか？

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	少 し そ う 思 う	そ う 思 う
1 相談すると、よい意見やアドバイスをもらえる	1	2	3	4	5
2 悩みを相談することは、自分の弱さを認めることになる	1	2	3	4	5
3 相談をすると、相手が悩みの内容を他の人に言ってしまう	1	2	3	4	5
4 相談すると気持ちが楽になる	1	2	3	4	5
5 相談したことを他の人にばらされる	1	2	3	4	5
6 相談すると、悩みが解決する	1	2	3	4	5
7 相談をしても、相手に話を真剣に聞いてもらえない	1	2	3	4	5
8 相談すると、気持ちがスッキリする	1	2	3	4	5
9 相談をしても馬鹿にされる	1	2	3	4	5
10 人に相談するよりも、自分で悩みにとりくむほうが充実感がある	1	2	3	4	5
11 相談すると、相手が励ましてくれる	1	2	3	4	5
12 1人で悩みに立ち向かうことで、強くなれると思う	1	2	3	4	5
13 相談しないで1人で悩んでいても、よけい悪くなると思う	1	2	3	4	5
14 何らかの専門家に相談をしても意見が合わない	1	2	3	4	5
15 相談をしても、相手に嫌なことを言われる	1	2	3	4	5
16 相談をしても、相手が別の意見を言うてくる	1	2	3	4	5
17 悩みを相談すると、自分の弱い面を相手に知られてしまう	1	2	3	4	5
18 人に相談するよりも、自分でなんとかすることで成長できる	1	2	3	4	5
19 悩みを相談しても、それを秘密にしてもらえない	1	2	3	4	5
20 相談をしても、相手に話を簡単に流される	1	2	3	4	5
21 悩みを誰にも相談しないと、ずっと悩みから抜け出せないと思う	1	2	3	4	5
22 1人で悩んでいても、いつまでも悩みを引きずることになる	1	2	3	4	5
23 悩みを相談すると、自分を弱い人間のように感じてしまう	1	2	3	4	5
24 相談すると、相手が悩みの解決のために協力してくれる	1	2	3	4	5
25 相談すると、悩みの解決法がわかる	1	2	3	4	5
26 相談すると、相手が真剣に相談に乗ってくれる	1	2	3	4	5

770-8502

研究室

Tel FAX 088 656 7191

E-mail: notohiro@as.tokushima-u.ac.jp

HomePage: <http://www.as.tokushima-u.ac.jp/notohiro/>

NPO

KHJ

339-0057

1-3-3

FAX 048-758-5705

E-mail: webmaster@khj-h.com

HomePage: <http://www.khj-h.com/>